

黒滝村公営住宅建築工事特記仕様書

I. 工事概要

- 1. 工事場所 黒滝村大字長瀬地内
2. 建物概要 木造 平屋建て 2棟 延床 72.918㎡/棟

II. 建築工事仕様

- 1. 共通仕様
2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
(3) 特記事項に記載の()内表示記号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の[]内表示記号は、公共建築改修工事標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Special Specifications). Includes sections for ① 適用基準等, ② 工事実績情報の数, ③ 発生材の処理等, ④ 電気保安技術者, ⑤ 施工条件, ⑥ 建築材料等, ⑦ 特別な材料の工法, ⑧ 技能士.

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Special Specifications). Includes sections for ⑨ 化学物質の濃度測定, ⑩ 完成時の提出図書, ⑪ 完成図, ⑫ 工事写真・完成写真, ⑬ 設備工事との取合い, ⑭ 設計 G L, ⑮ 六価クロム溶出試験等, ⑯ 環境への配慮.

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Special Specifications). Includes sections for ① 足場その他, 2 監督職員事務所, ③ 監督職員事務所の備品等, ① 埋戻し及び底土, ② 建設発生土の処理, ⑤ 砂利地業及び砂地業, ⑦ 捨てコンクリート地業, ⑧ 床下防湿層, ⑨ 地盤改良工事, ① 鉄筋, ② 溶接金網, ③ 鉄筋の継手, ④ 鉄筋のかぶり厚さ.

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Special Specifications). Includes sections for ① コンクリートの強度, ② レディーミクストコンクリートの類別, ③ 気乾単位容積質量, ④ スランプ, ⑤ セメント, ⑥ 骨材, ⑦ 混和材料, 8 軽量コンクリート, 9 寒中コンクリート, 11 無筋コンクリート, 12 流動化コンクリート, ③ 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地, 14 層中におけるコンクリートの取扱い, ⑤ 打放し仕上げの種別, ⑥ せき板の材料.



一級建築士事務所
株式会社 礎建設事務所
一級建築士(大監) 188404 南 明

Table with 2 columns: 日付 (Date) and 検印 (Check/Stamp). Includes fields for 縮尺 (Scale) and 製図 (Drawing).

Table with 2 columns: 工事名称 (Project Name) and 図面名称 (Drawing Name). Includes fields for 黒滝村公営住宅建築工事 and 特記仕様書 1.

① ガラス

② フロート板ガラス 厚さ(mm) (16.14.2)
 ・型板ガラス 品種 (16.14.2)
 厚さ(mm) ・2 ・4 ・6
 ・網入板ガラス及び網入板ガラス (16.14.2)
 網又は線の形状及び板の表面の状態による種類 厚さ(mm)
 網入板ガラス 網入型板 ・ひし網入型板ガラス ・6.8
 ガラス ・角網入型板ガラス ・6.8
 網入磨き ・ひし網入磨き板ガラス ・6.8 ・10
 ガラス ・角網入磨き板ガラス ・6.8
 網入板ガラス ・網入型板ガラス ・6.8
 ・網入磨き板ガラス ・6.8 ・10

③ 合わせガラス (16.14.2)
 形状 特性による種類 材料板ガラスの種類、厚さ 合計厚(mm)
 ・平面 ・I類 ・II-2類 フロート板 t4+3
 ・II-1類 ・III類
 ・曲面 ・I類 <ガラス種類(厚さ)+ガラス種類(厚さ)+...>

④ 強化ガラス (16.14.2)
 材料板ガラスの種類による名称 呼び厚(mm) 特性による種類
 ・型板強化ガラス ※4 ・I類
 ・フロート強化ガラス ・III類
 ・熱線反射強化ガラス ・

⑤ 熱線吸収板ガラス (16.14.2)
 板ガラスの種類 厚さ(mm) 性能による種類
 ・熱線吸収フロート板ガラス ・ ・1種 ・2種
 ・熱線吸収磨き板ガラス
 ・熱線吸収網入磨き板ガラス ※6.8
 ・熱線吸収網入磨き板ガラス
 ・熱線吸収網入型板ガラス

⑥ 複層ガラス (16.14.2)
 断熱性、日射熱へい性による種類 板ガラスの種類、厚さ 厚さ(mm)
 ・断熱複層ガラス ・1種 複層表による
 ・2種
 ・3種
 ・日射熱へい複層ガラス ・4種 複層表による
 ・5種

⑦ 熱線反射板ガラス (16.14.2)(16.14.4)
 材料板ガラスの種類 日射熱へい性による区分 厚さ(mm)
 ・フロート板ガラス ・1種 ・行方 ・6
 ・磨き板ガラス ・2種 ・行わない ・8
 ・熱線吸収フロート板ガラス ・3種 ・10
 ・熱線吸収磨き板ガラス
 ・平面強化ガラス
 ・倍強度ガラス

⑧ 倍強度ガラス (16.14.2)
 材料板ガラスの種類 厚さ(mm)
 ・フロート板ガラス ・6 ・8 ・10 ・12
 ・熱線吸収フロート板ガラス ・6 ・8 ・10 ・12
 ・磨き板ガラス ・6 ・8 ・10 ・12
 ・熱線吸収磨き板ガラス ・6 ・8 ・10 ・12
 ・熱線反射ガラス ・6 ・8 ・10 ・12

⑨ ガラス留め材 (16.14.2)

器具の種類 ガラス留め材
 アルミニウム製 ・ガasket
 ・グレダグ・チン形(特見込み70mmの引違い、片引き隠子の場合)
 ・シーリング材(SR-1)引違い隠子以外の部分に使用
 鋼製 ・シーリング材(SR-1)
 ステンレス製 ・シーリング材(SR-1)

板ガラスをはめ込む溝の大きさ (16.14.3)(表16.14.1)
 ※標準仕様書表16.14.1による
 (強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合を除く。)

④ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) (18.4.2)
 塗料の種類 ※1種 ・2種 (18.4.3)(表18.4.1)
 木部合成樹脂調合ペイント塗り ※A種 ・B種
 屋外 ※A種 ※B種
 屋内 ※A種 ※B種
 鉄鋼面の合成樹脂調合ペイント塗りの種別 (18.4.4)(表18.4.2)
 ・A種 ※B種

5 クリヤラッカー塗り(DL) (18.5.2)(表18.5.1)
 クリヤラッカー塗りの種別 ・A種 ※B種

6 7/14樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) (18.6.2)(表18.6.1)
 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗りの種別 ・A種 ※B種

7 耐候性塗料塗り(OP) (18.7.4)(表18.7.3)
 コンクリート及び押出成形の板面耐候性塗料塗りの種別 ・A種 ・B種 ・C種

8 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ※B種 (18.8.2)(表18.8.1)
 屋外のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種別 (18.8.2)(表18.8.1)
 屋内の鉄鋼面つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種別 (18.8.4)(表18.8.3)
 ・A種 ※B種

9 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) (18.9.2)(表18.9.1)
 合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種別 ・A種 ※B種

10 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T) (18.10.2)(表18.10.1)
 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗りの種別 ・A種 ※B種

11 ウレタン樹脂ニス塗り(U)タン樹脂ニス塗りの種別 (18.11.2)(表18.11.1)
 ・A種 ※B種

12 ラッカーエナメル塗り(L) ラッカーエナメル塗りの種別 (18.12.2)(表18.12.1)
 ・A種 ※B種

13 木材保護塗料塗り(WP) (18.14.2)(表18.13.1)
 木材保護塗料塗りの種別 ・A種 ※B種

19 内装工事

① ビニル床シート (19.2.2)(19.2.3)
 種類の記号 厚さ(mm) 色柄 工法
 ※NC ※2.0 ・ 熱溶接
 ○ CFシート ○ 1.8 ・ 突付け

② ビニル板 (19.2.2)
 材質 高さ(mm) 厚さ(mm)
 ・軟質 ・硬質 ※60 ・

③ フローリング張り (19.5.2)(19.5.4~7)(表19.5.1)(表19.5.3)
 単層フローリング 樹種 厚さ(mm) 大きさ(mm) 塗装
 ・フローリングボード ※なら 15 板幅 75 ※外側樹脂ニス塗り
 ・フローリングブロック ※なら ※15 ※303×303 ・外側樹脂ニス塗りの上から
 ・モザイクパーケット ・ ・ ・ 生地そのままニス塗り
 複合フローリング 樹種 種別 防湿処理 塗装
 ○複層1種フローリング ※なら ・A種 ※外側樹脂ニス塗り
 ・複層2種フローリング ・ ・B種 ※外側樹脂ニス塗りの上から
 ・複層3種フローリング ・ ・C種 ・行方 ・ 生地そのままニス塗り
 ○図示
 工法 ・モルタル埋込み工法 ・接着工法 (19.5.3)
 ・釘留め工法(・根太張り・直張り工法)
 接着工法の場合のフローリング裏面の種別 ※合成樹脂発泡シート (19.5.5)

④ 敷敷き (19.6.2)(表19.6.1)
 種別 (19.6.2)(表19.6.1)
 ・A種 ・B種 ○C種 ・D種 (・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-M)

⑤ 石こうボード、その他ボード及び合板張り (19.7.2)(表19.7.1)
 名称 種類 厚さ(mm)
 ○せつこうボード(GB-R) ○9.5 ○12.5
 ○シーリングせつこうボード(GB-S) ・9.5 ○12.5
 ・強化せつこうボード(GB-F)
 ・化粧せつこうボード(GB-D) ・9.5 ・12.5
 ・せつこうラスボード(GB-L)
 ・不燃積層せつこうボード(GB-NC) ・9.5
 吸音材 ・ロックウール吸音フェルト(RW-F)
 ・ロックウール吸音ボード(RW-B)
 ・グラスウール吸音フェルト(GW-F)
 ・グラスウール吸音ボード(GW-B)
 ・ロックウール化粧吸音板(RR) ・12 ・12(溝付)

合板類の張付け 種別 ・A種 ※B種
 せつこうボードの目地工法の種類 (19.7.3)(表19.7.5)
 ・目隠し工法 ・突付け工法 ○継目処理工法

⑥ 防火材料 (18.1.3)
 ※屋内の壁、天井の仕上材は、防火材料とする。
 ・次の場所を除き、防火材料とする。()

⑦ 遮音地ごしらえ (18.2.2)(表18.2.1)
 種別 (18.2.2)(表18.2.1)
 木部 不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種
 透明塗料塗りの場合 ・A種 ※B種
 鉄鋼面 ・A種 ・B種 ※C種 (18.2.3)(表18.2.2)
 モルタル面、プラスター面 ・A種 ※B種 (18.2.5)(表18.2.4)
 コンクリート面、ALCパネル面(耐候性塗料塗り以外の場合) (18.2.6)(表18.2.5)
 ・A種 ※B種

⑧ 遮音の塗料塗り (18.2.7)(表18.2.7)
 石こうボード、その他のボード面 (18.2.7)(表18.2.7)
 石こうボードの目地工法が継目処理工法の場合 ※A種 ・B種
 上記以外 ・A種 ※B種

⑨ 遮音の塗料塗り (18.3.2)(表18.3.2)
 遮音の塗料の種別 遮音の塗料の種別 (18.3.2)(表18.3.2)
 遮音の塗料の種別 (18.3.2)(表18.3.2)
 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)の場合 ・A種 ・B種 ※C種
 上記以外 ※A種 ・B種 ・C種

⑩ 遮音の塗料塗り (18.3.3)(表18.3.3)
 鉄鋼面 (18.3.3)(表18.3.3)
 見え隠れ部分 ※A種 ・B種
 見え隠れ部分 ・A種 ※B種

⑪ 遮音の塗料塗り (18.3.4)(表18.3.4)
 遮音の塗料の種別 (18.3.4)(表18.3.4)
 鋼製建築等 ※A種 ・B種 ・C種
 上記以外 ・A種 ・B種 ※C種

⑫ 壁紙張り (19.8.2)
 施工場所 品質の程度 防火性能の等級 (19.8.2)
 ・1級 ○2級
 ・1級 ・2級
 ・1級 ・2級
 品質の程度は、参考商品名である
 素地ごしらえ
 モルタル面、プラスター面 ・A種 ※B種 (19.8.3)(表18.2.4)
 コンクリート面 ・A種 ※B種 (19.8.3)(表18.2.5)
 せっこうボード面 ・A種 ※B種 (19.8.3)(表18.2.7)

⑬ 断熱材 (19.9.2)
 断熱材打込み工法 (19.9.2)
 種類 種別 厚さ(mm) 施工場所
 ・ビーズ法*グラスウール
 ・押出法*グラスウール
 ・硬質ウレタンフォームA種 ・2種 ・t75 ・図示
 ・フェノールフォーム
 ・断熱材現場発泡工法 (19.9.3)
 種類 吹付け厚さ(mm) 施工場所
 ※A種1 ・15
 ・A種2
 ・A種3
 ・B種1
 ・B種2
 上記断熱材は、特定フロンを含まないものとする
 ○その他、図示

21 排水工事

① 排水管 (21.2.1)(表21.2.1)
 排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1)
 材質 種類・記号 形状 強度(KN/m) 呼び径 厚さ(mm)
 ・遠心力鉄筋 外圧管(1種)
 ・コンクリート管
 ○硬質ポリ塩化ビニル管 ○WP ・VU
 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ○RS-VU
 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ○DV
 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ○DV
 排水用硬質塩化ビニル管継手 ※接着剤 ・ゴム輪 (21.3.3)

② 側溝、排水枳等 (21.2.2)
 側溝 形状及び寸法 ・図示(図面番号) (21.2.2)
 排水枳 形状及び寸法 ・図示(図面番号) (21.2.2)
 マンホールふたの種類 ※図示(図面番号) (21.2.2)
 グレーチングの材質、用途、適用荷重、メインバーピッチ等 ※図示(図面番号) (21.2.2)

③ 地盤の材料 (21.2.3)(4.6.2)
 ※標準仕様書4.6.2(a)による (21.2.3)(4.6.2)

④ コンクリート (21.2.3)
 設計基準強度(N/mm²) ※18 (21.2.3)

⑤ 埋め戻し用材料 (21.2.3)(表3.2.1)
 標準仕様書3.2.1による種別 (21.2.3)(表3.2.1)
 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種

⑥ 街石、縁石、側溝 (21.4.2)(表21.4.1)
 ・縁石 (21.4.2)(表21.4.1)
 規格名称 種類 呼び名
 プレキャスト無筋コンクリート製品
 (JIS A 5371) ・片面歩道境界ブロック ・A ・B ・C
 ・両面歩道境界ブロック
 ・地先境界ブロック
 ・L型側溝 (21.4.2)(表21.4.1)
 規格名称 種類 呼び
 ・プレキャスト無筋コンクリート製品(JIS A 5371) ・250A ・250B
 ・プレキャスト鉄筋コンクリート製品(JIS A 5372) ・1種 ・250A ・250B ・300 ・350
 ・2種 ・500A ・500B ・500C
 ○L型側溝 (21.4.2)(表21.4.1)
 規格名称 種類 呼び
 プレキャスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372) ・2種 ○1180
 ○L型側溝 (21.4.2)(表21.4.1)
 規格名称 種類 呼び
 プレキャスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372) ○1種 呼び
 ・2種 ・150 ○180 ・240
 ・300 ・360 ・450
 ○グレーチング (21.4.3)
 砂利地盤の厚さ(mm) ※100 (21.4.3)

22 その他工事

① 外壁タイル (※コナ「タイルタイル」M14) 同等品以上
 ② 破風・鼻隠板 (※コナ「タイルタイル」同等品以上
 ③ タンク (※タカ「タンク」シリーズ H=1350) 同等品以上
 ④ フェンス (※四国化成「フェンス」ERF25型H=1500) 同等品以上
 ⑤ 有線放送 (※区の有線放送業者と協定を結ぶこと)

木造納まり標準図

1. 基礎と土台の繋結

(1) アンカーボルトの配置

アンカーボルトは構造計算の結果に基づいて圧力や地震力に有効に働くように次の位置に配置する。

- (イ) 筋かいを設けた耐力壁の部分は両端の柱の下部に近い位置とする。
 - a) ホールダウン金物をアンカーボルト (A-70) で直接繋結する場合は、図-1による。
 - b) ホールダウン金物を座金付きボルト (M16W) で土台と繋結する場合は、図-2による。
- (ロ) 構造用合金板を設けた耐力壁の部分は上記の(イ)に準ずる。

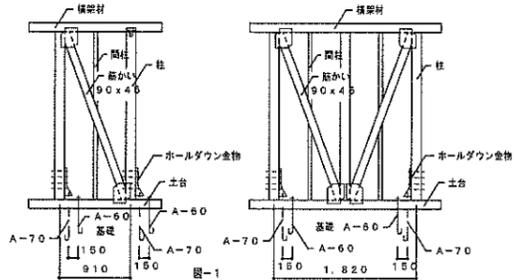


図-1

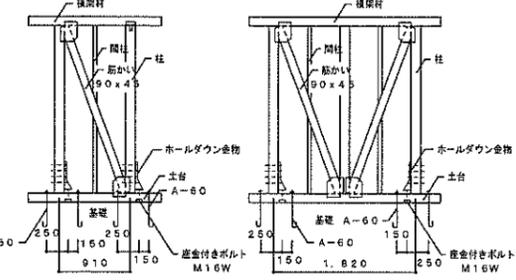


図-2

- (ハ) 隅角部、土台根平及び土台仕口箇所は図-3による。
- (ニ) 上記イ、ロ及びハ以外の部分に於いては間隔2m以内となるような位置とする。

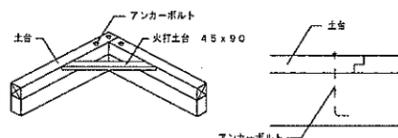


図-3 アンカーボルトの配置

(2) アンカーボルトの施工

- (イ) アンカーボルトのコンクリート基礎への埋込め長さはA-60、A-70については360mm以上A-40については250mm以上とする。
なお、アンカーボルトの先端は、土台の上端よりナットの付にじが3山以上出るように固定する。
- (ロ) アンカーボルトの芯出しは、型枠を用いて基準面に正しく合せ、適切な養生などで正確に行う。
- (ハ) アンカーボルトの保持は、型枠を用いるなどで正確に行い、移動、下部のずれなどがないように、十分固定する。
- (ニ) アンカーボルトの保持及び埋込めは鉄筋などを用いて組み立て、適切な補助材で型枠の側に固定して、コンクリートの打ち込みを行う。
- (ホ) アンカーボルトは、振動などにより有害な歪みが生じないように取り扱う。
また、なじみの発生、さびの発生、汚損を防止するために布、ビニールテープなどを巻いて養生を行う。

(3) アンカーボルトの定着のチェック方法

埋込位置のマークを確認する。(埋込マークの中心のポイント) 図-4

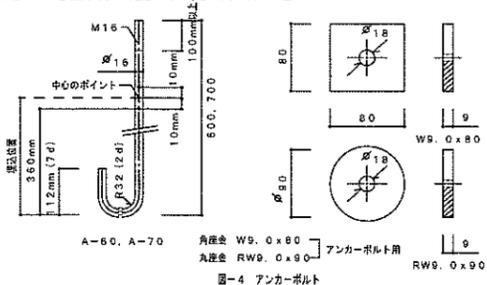


図-4 アンカーボルト

1. 2 柱と基礎 (土台) との繋結

- (1) 柱は、構造計算による引抜き耐力に耐えられるように接合金物 (ホールダウン金物) を10.0kN用、15.0kN用、20.0kN用、25.0kN用から選択し基礎又は土台と繋結する。(図-5)

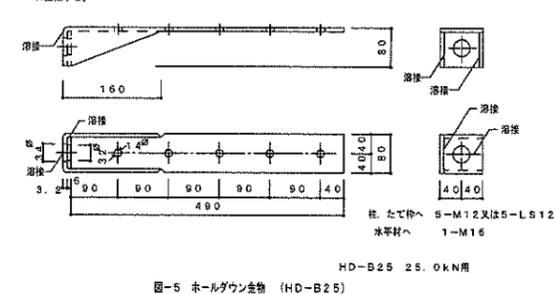


図-5 ホールダウン金物 (HD-B25)

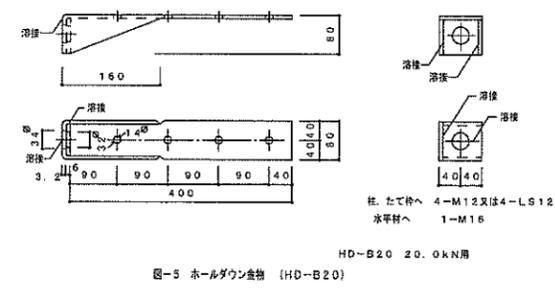


図-5 ホールダウン金物 (HD-B20)

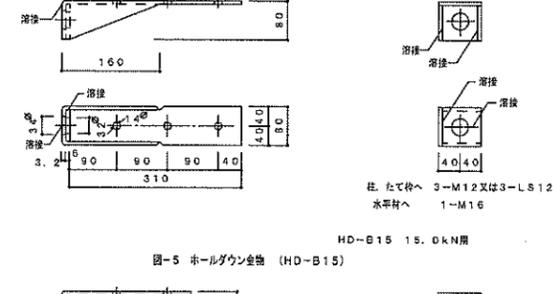


図-5 ホールダウン金物 (HD-B15)

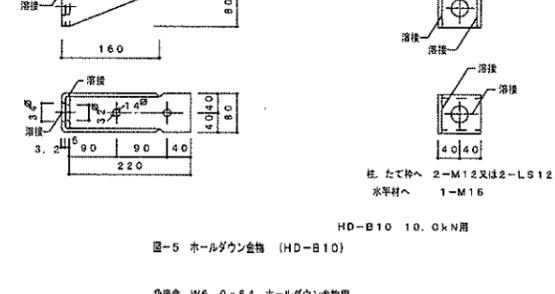


図-5 ホールダウン金物 (HD-B10)

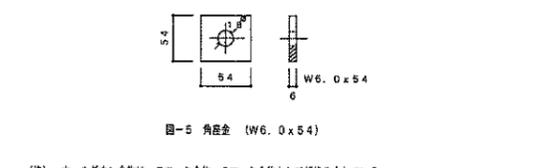


図-5 角座金 (W6.0x54)

(注) ホールダウン金物は、Zマーク金物、Cマーク金物として規格化されている。

(2) 繋結方法は、次にによる。

- (イ) ホールダウン用アンカーボルトを用いて直接基礎に繋結する場合。(図-6)

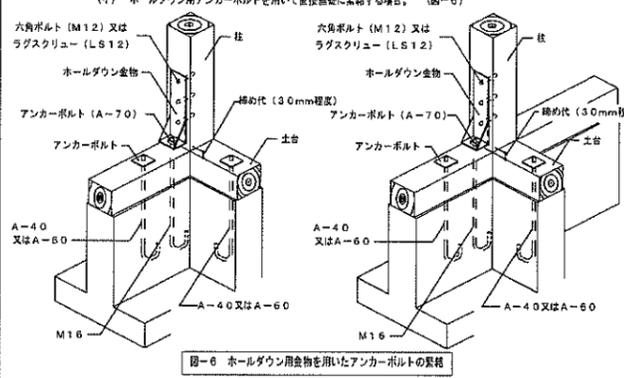


図-6 ホールダウン用金物を用いたアンカーボルトの繋結

- (ロ) 座金付きボルト (M16W) を用いて土台と柱を繋結する場合。(図-7)

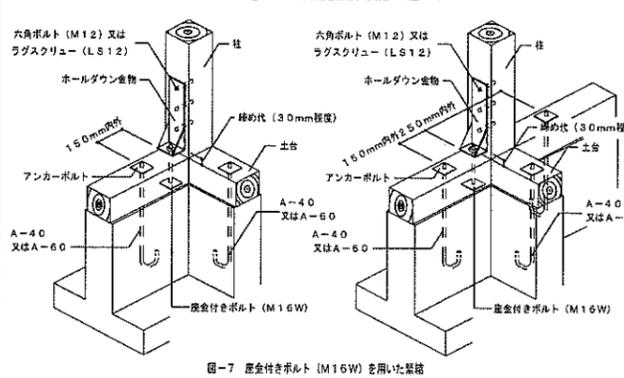


図-7 座金付きボルト (M16W) を用いた繋結

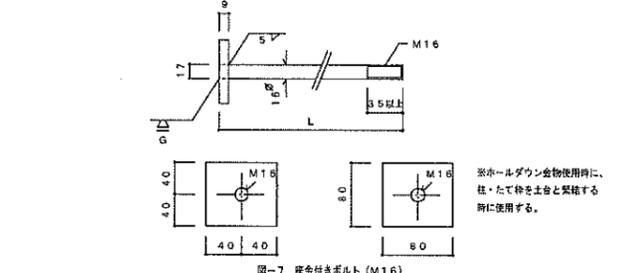


図-7 座金付きボルト (M16)

1. 3 筋かいの仕口

仕口は、筋かいプレート (BP-2) (図-8) によって繋結する。この筋かいプレートは、筋かいの引張の応力に対応して定められている。

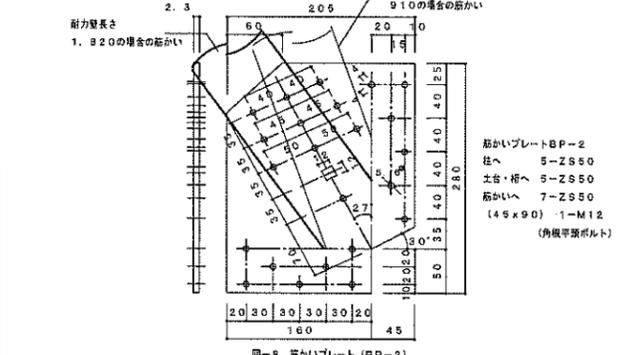


図-8 筋かいプレート (BP-2)

筋かい90x90の場合、柱又は構架材に1-M12を用いて一面せん断面接合とする。(図-9 (ハ、ニ))
※ホールダウン部分は除く。

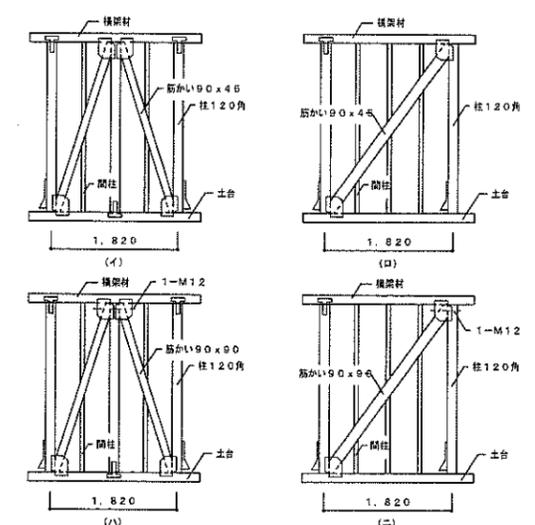


図-9 筋かいの挿入方法 (施工例)

1. 4 通し柱

- (1) 通し柱は、次のいずれかによる。
 - (イ) 1階から3階に達する通し柱とする場合。
 - (ロ) 1階から2階までの通し柱と2階から3階までの通し柱を組み合わせて使用する場合は、当該通し柱と壁柱とは接合金物で繋結する。
- (2) 通し柱に代わる管柱の構造
 - 外周部の主要な隅柱及び構造計算による引抜き耐力が大きい2階の柱は、1階の管柱と接合金物 (ホールダウン金物) で繋結する。ホールダウン金物の取付方法は、次にによる。
 - (イ) 上階の柱及び下階の柱にホールダウン金物を用い、柱の下部及び上部に締め代を六角ボルト (M12)、ラグスクリュー (LS12) 等で各々取り付ける。
 - (ロ) ホールダウン金物は、相互に六角ボルト (M12又はM16) を用いて繋結する。(図-10)
- (3) 構造計算により引抜き耐力が小さい2階の柱の接合金物は、Zマーク表示品又はこれらと同等以上のものとする。
- (4) 隅柱
 - (イ) 出隅
 - a) 異なる構造がほぼ同等かつ同一高さで取り合う場合。(図-11)
 - 一方の隅柱 (B) を他方の隅柱 (A) に大入れ片ありに仕掛け、両者相互に建物の内側に溝を掘り付けた羽子板ボルト (SB-E) で繋結する。上下管柱は隅柱 (A) に短差を差し、管柱出隅部面にひら金物 (SM-40) を当て、各々止め釘 (ZN65) で打ち固める。

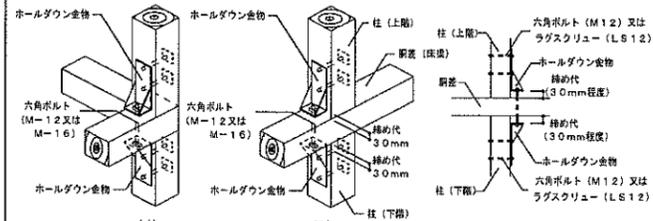


図-10 通し柱に代わる管柱の構造

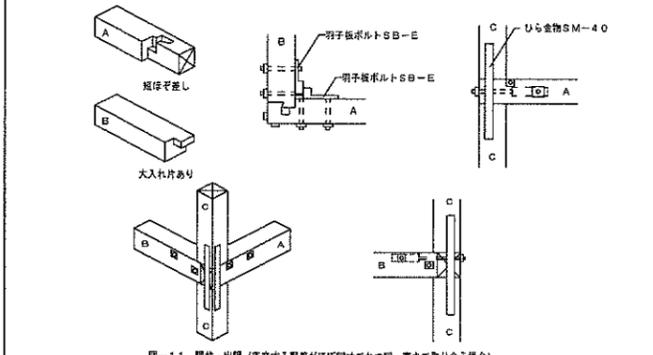
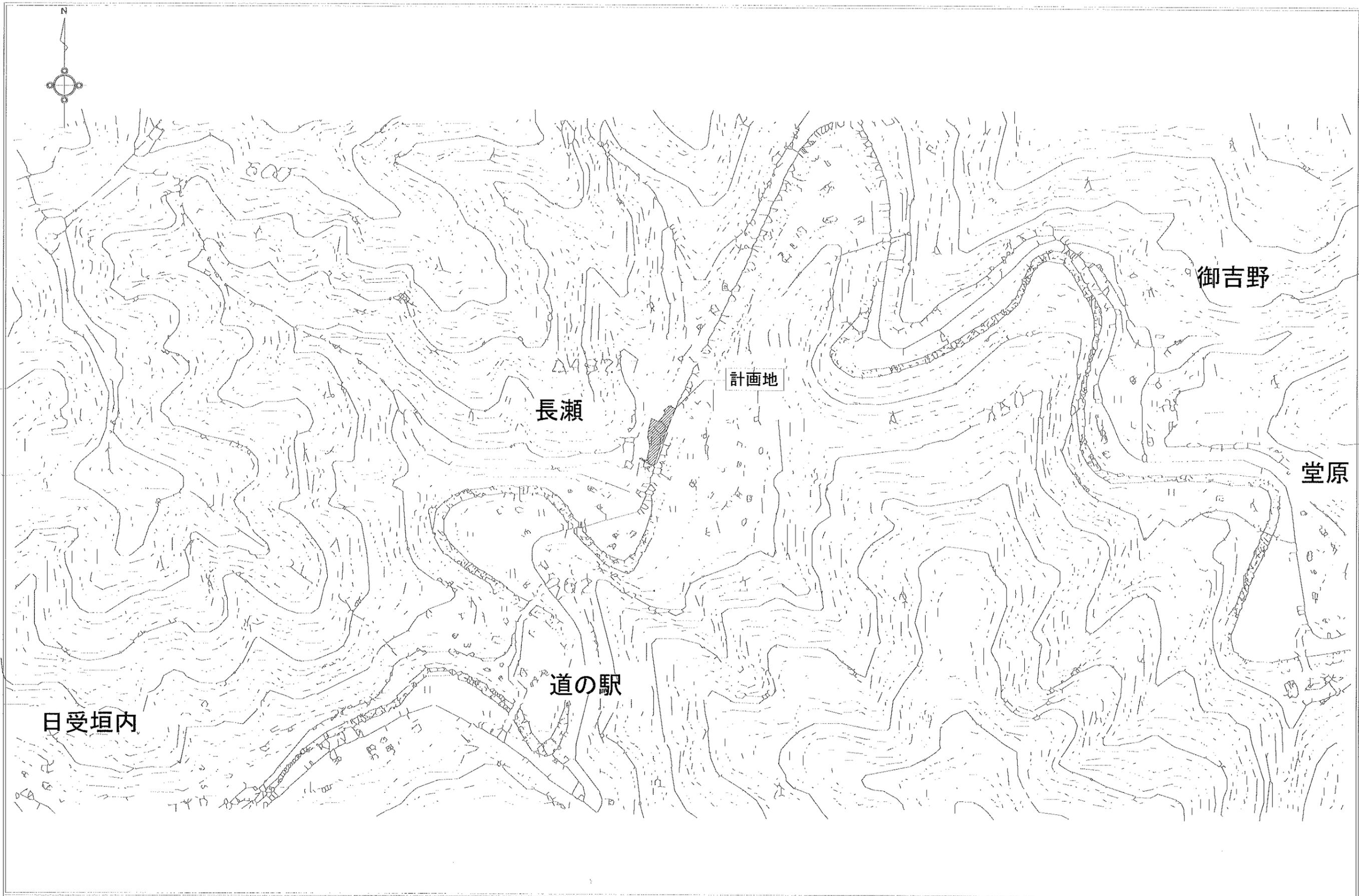


図-11 隅柱・出隅 (異なる構造がほぼ同等かつ同一高さで取り合う場合)

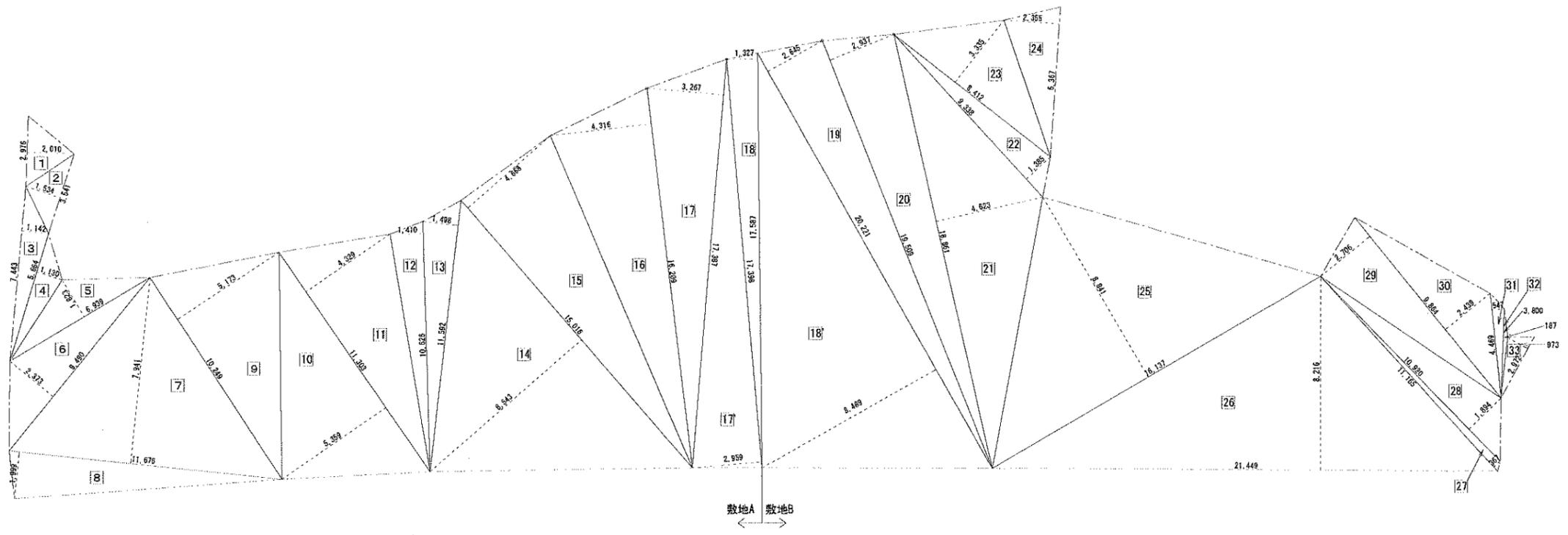
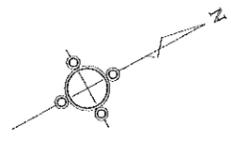


一級建築士事務所
 奈良県知事登録 2017 (5) 第704号
 株式会社 礎建築事務所
 一級建築士 (大阪) 168404 南 明

日付		工事名称	黒滝村公営住宅建築工事
縮尺		図面名称	木造納まり標準図 (1)
検印		製図	

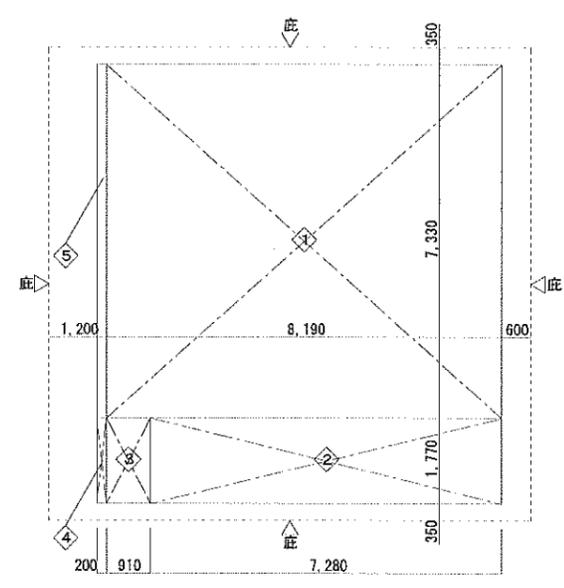


	一級建築士事務所 奈良県知事登録 2017 (特) 第704号 株式会社 礎建築事務所 一級建築士 (大抵) 168404 南 明			日付 検 印 製図	工事名称 黒滝村公営住宅建築工事	A
	縮尺 1/2500	図面名称 付近見取り図	6	23		



Plot No.	Dimensions	Area	Plot No.	Dimensions	Area
1	2,976 x 2,010	5,981.76	20	19,509 x 2,937	57,297.933
2	3,541 x 1,534	5,431.894	21	18,861 x 4,623	87,194.403
3	7,443 x 1,142	8,499.906	22	9,338 x 1,385	12,933.13
4	5,664 x 1,130	6,400.32	23	8,412 x 3,335	28,054.02
5	6,939 x 1,823	12,649.797	24	6,367 x 2,355	14,994.285
6	9,490 x 2,373	22,519.77	25	16,137 x 8,841	142,667.217
7	11,676 x 7,941	92,719.116	26	21,449 x 8,216	176,224.984
8	11,676 x 1,999	23,340.324	27	11,165 x 367	4,097.555
9	10,249 x 5,173	53,018.077	28	10,920 x 1,894	20,682.48
10	11,303 x 5,359	60,572.777	29	9,864 x 2,706	26,691.984
11	11,303 x 4,329	48,930.687	30	9,864 x 2,439	24,058.296
12	10,626 x 1,410	14,982.66	31	4,469 x 547	2,444.543
13	11,592 x 1,498	17,364.816	32	3,800 x 187	0.7106
14	15,016 x 8,543	128,281.688	33	2,972 x 973	2,891.756
15	15,016 x 4,668	70,094.688	合計(敷地B)		826.08
16	16,209 x 4,316	69,958.044	計(倍面積)		1,598.45 m ²
17	17,387 x 3,267	56,803.329	1/2(敷地面積)		779.23 m ²
17	17,398 x 2,959	51,480.682	1/2(敷地A面積)		386.19 m ²
18	17,587 x 1,327	23,337.949	1/2(敷地B面積)		413.04 m ²
合計(敷地A)		772.37			
18	20,221 x 8,489	171,656.069			
19	20,221 x 2,645	53,484.545			

建築面積・延床面積 求積図 1:100



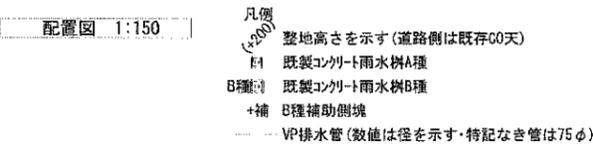
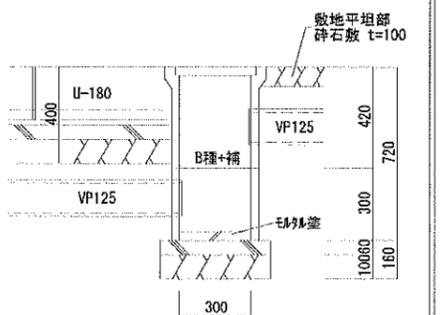
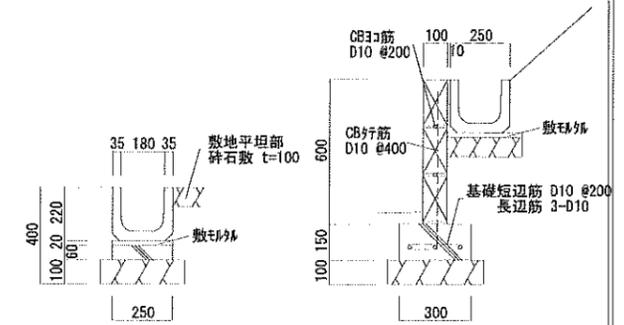
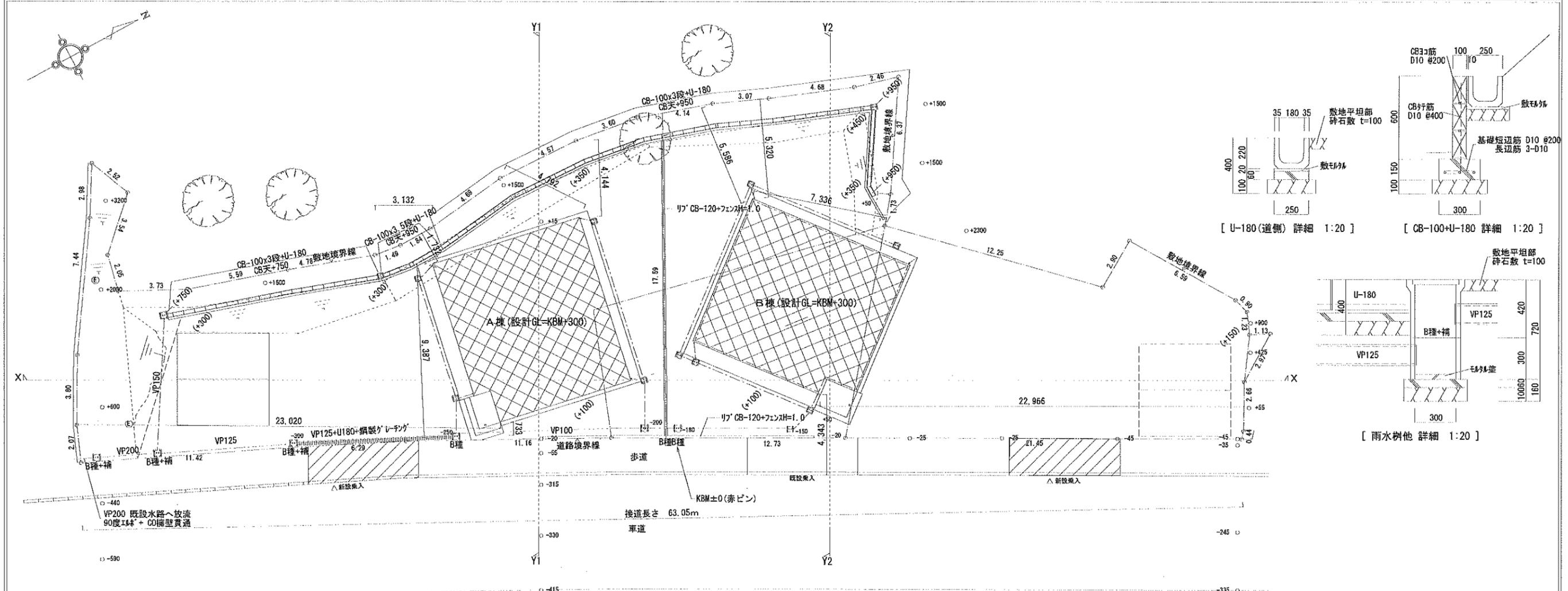
Plot No.	Dimensions	Area
1	8,190 x 7,330	60,032.7
2	7,280 x 1,770	12,885.6
3	910 x 1,770	1,610.7
4	200 x 1,770	0.354
5	200 x 7,330	1,466
計		76.35 m ²
延床面積求積表		
1	8,190 x 7,330	60,032.7
2	7,280 x 1,770	12,885.6
計		72,918.3
改計		72,918 m ²



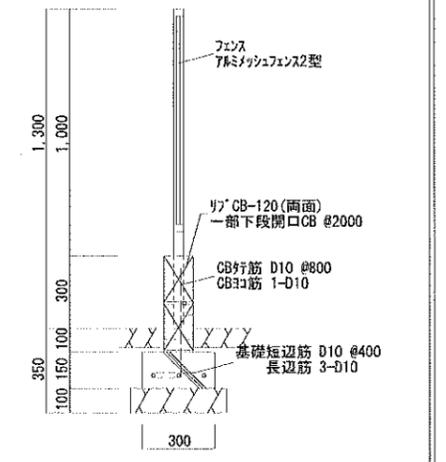
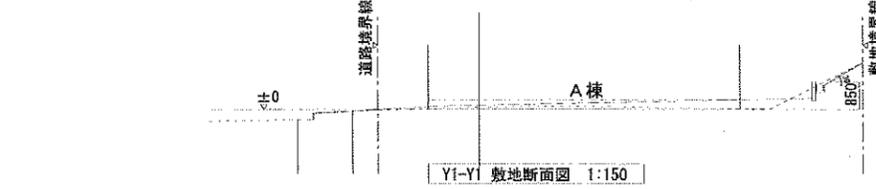
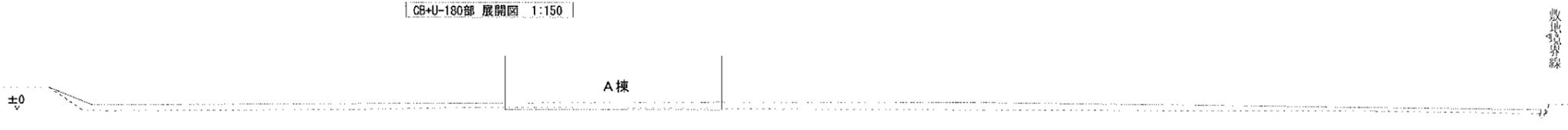
一級建築士事務所
 奈良県知事登録 2017(特)第704号
 株式会社 礎建築事務所
 一級建築士(大臣) 188404 南 明

日付		検	印	製図
縮尺	1/150・1/100			

工事名称	黒滝村公営住宅建築工事
図面名称	求積図・求積表

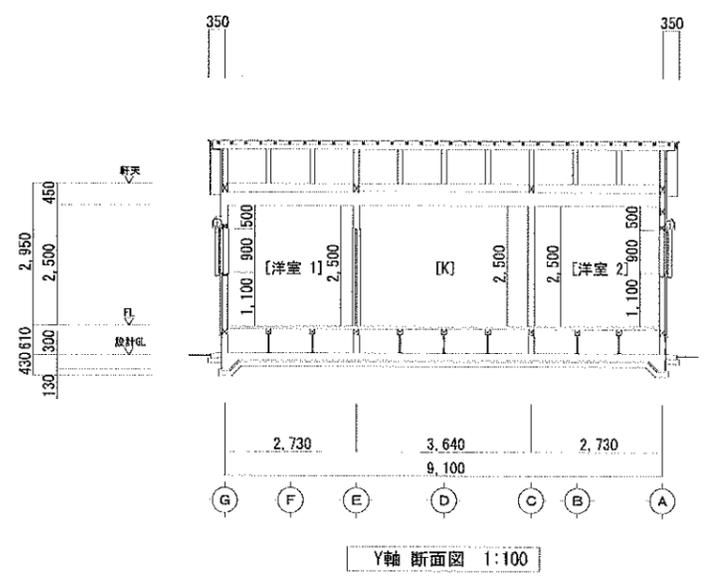
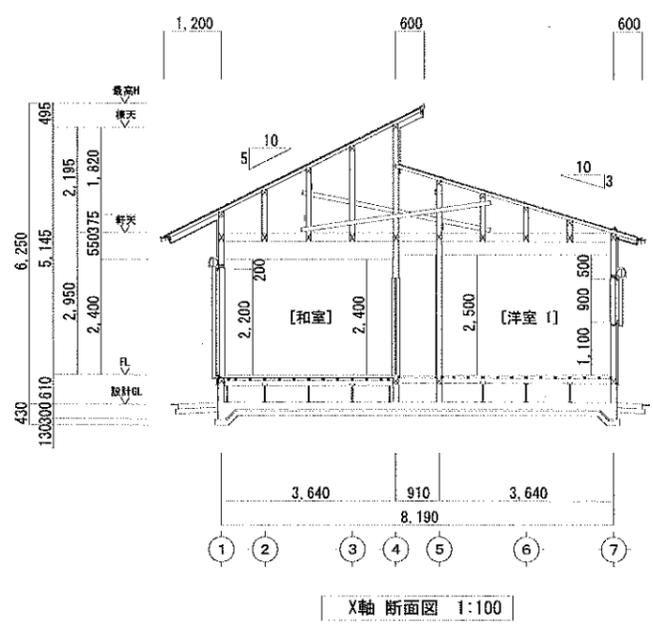
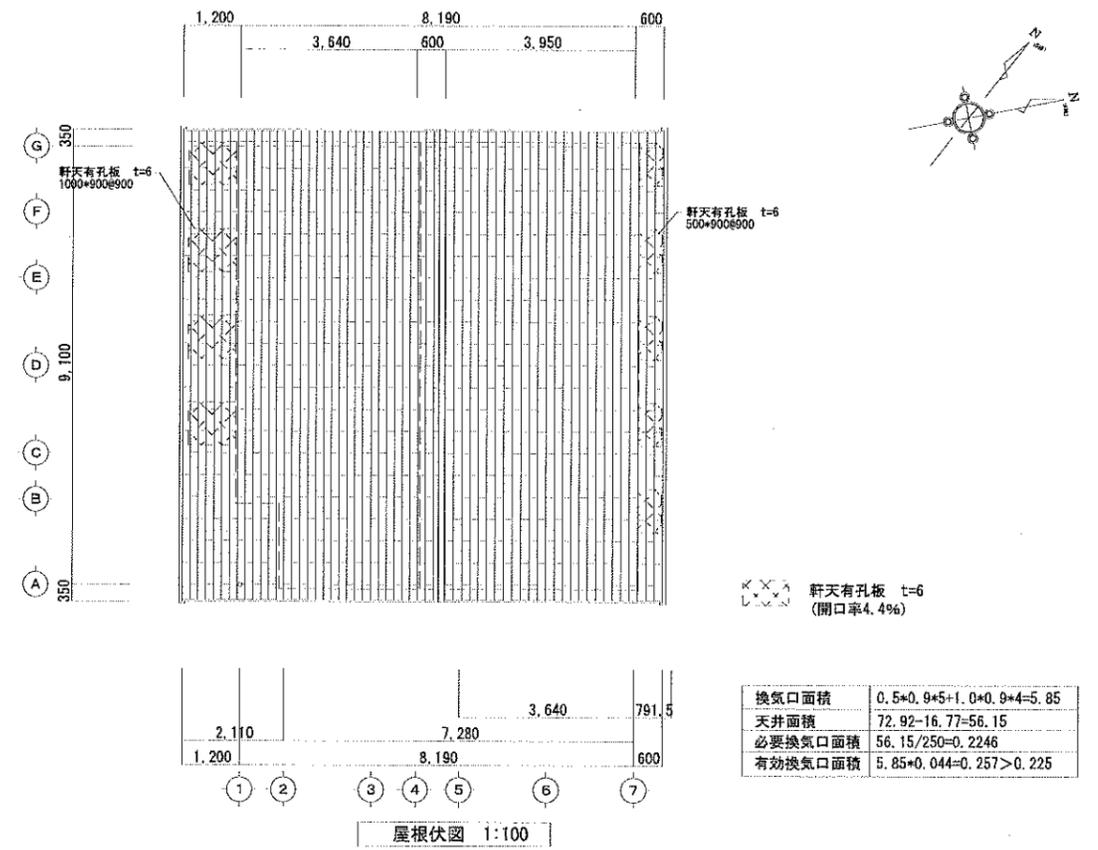
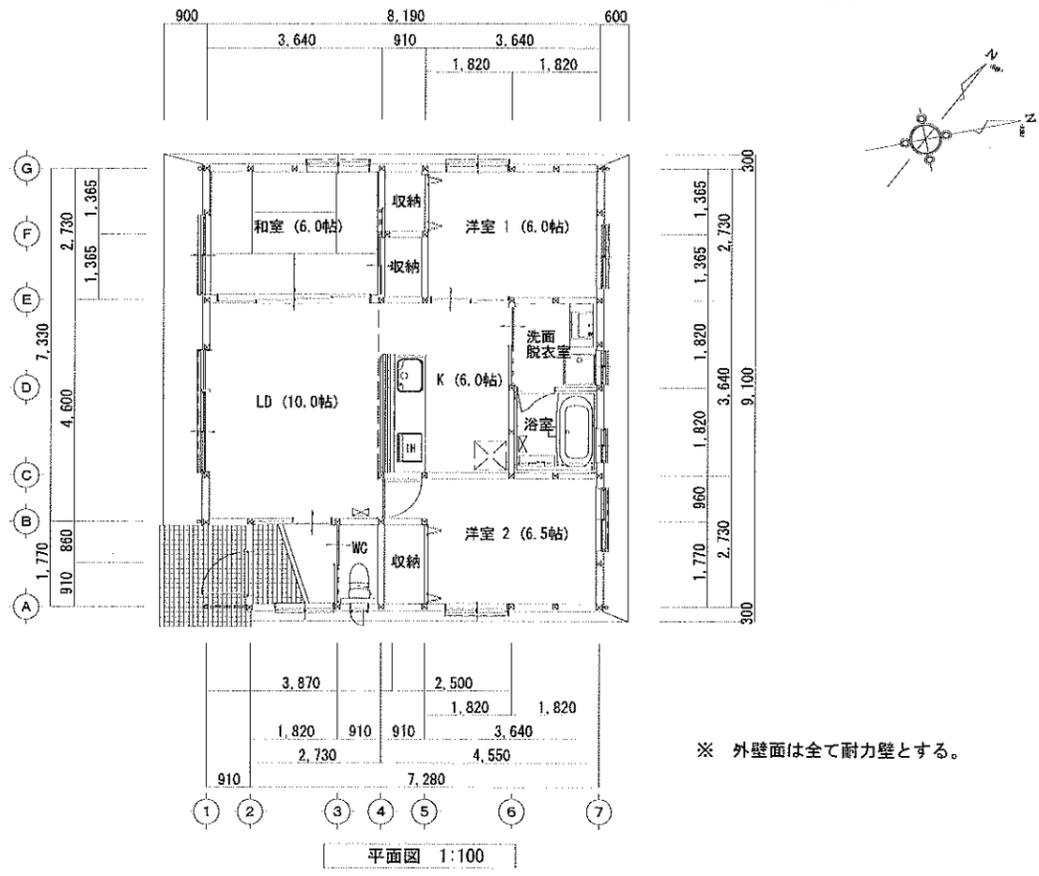


- 凡例
 (+200) 整地高さを示す (道路側は既存C0天)
 B種 既製コンクリート雨水樹A種
 B種+補 既製コンクリート雨水樹B種
 +補 B種補助側塊
 VP排水管 (数値は径を示す・特記なき管は75φ)



※ 部分詳細に関わらず建物下部以外、平均碎石厚t=200平均盛土厚t=200を見込み、それに合わせて現状地盤掘りを行うこと。
 ※ 法面は30°以下とすること。

	一級建築士事務所 奈良県知事登録 2017 (5) 第704号 株式会社 礎建築事務所 一級建築士 (大抵) 188404 南 明	日付 縮尺 図示	工事名称 黒滝村公営住宅建築工事	図面名称 配置図・敷地断面図・詳細図	A 10 23
	日付 縮尺 図示	検 印 製図	工事名称 黒滝村公営住宅建築工事	図面名称 配置図・敷地断面図・詳細図	A 10 23



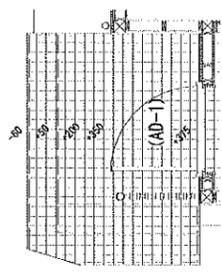
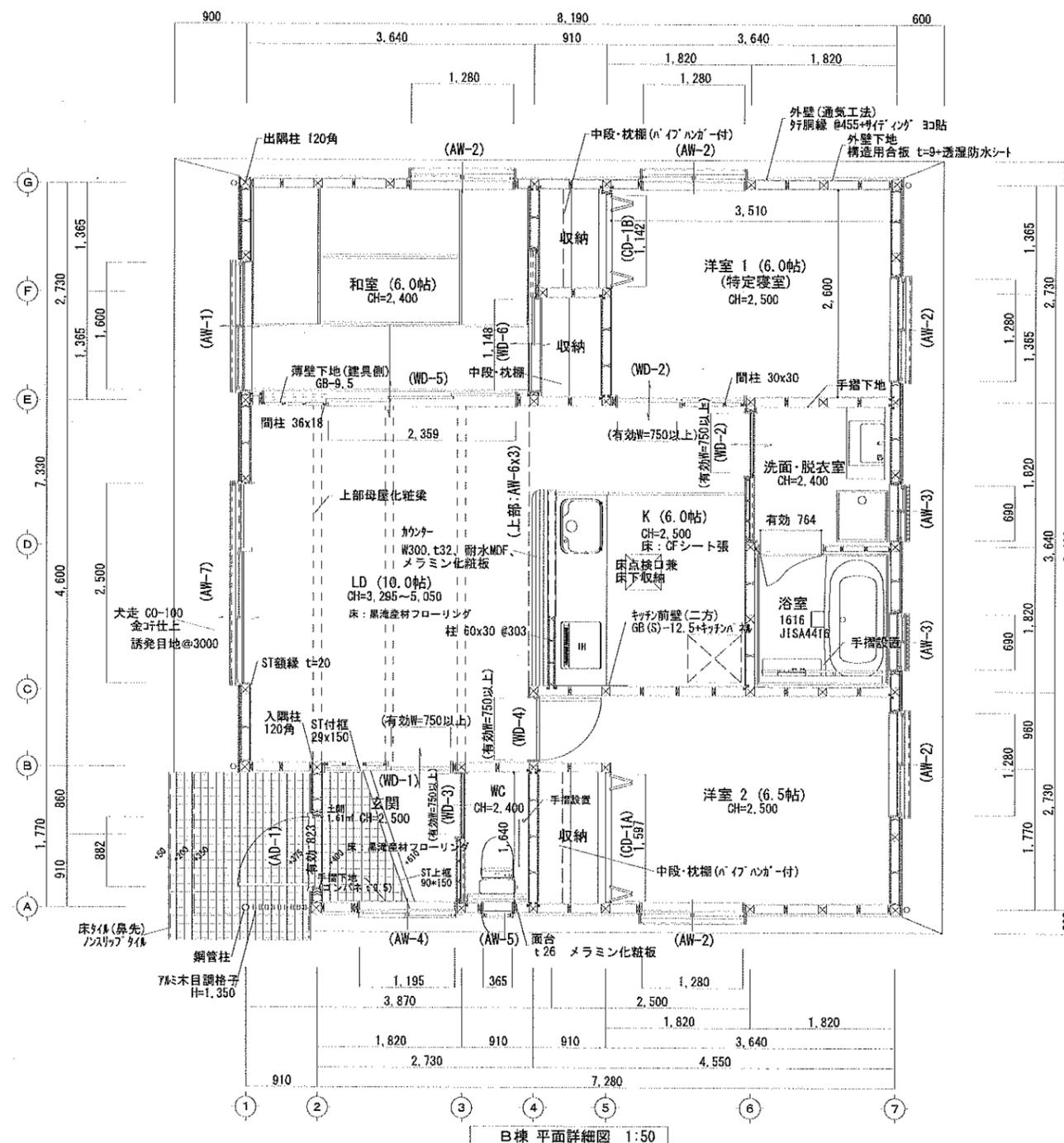
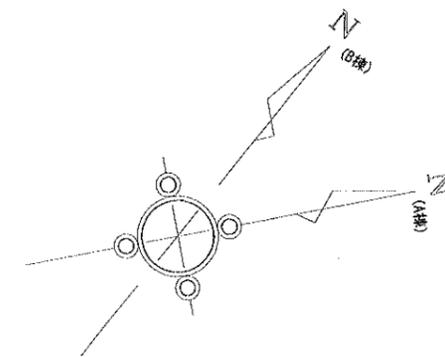
一般建築士事務所
 奈良県知事登録 2017 (特) 第704号
 株式会社 礎建築事務所
 一級建築士 (大臣) 188404 南 晴

日付
 縮尺 1/100

校印
 製図

工事名称
 黒滝村公営住宅建築工事
 図面名称
 平面図・屋根伏図・断面図

A
 11
 23



[A棟ポーチ 平面詳細図 1:50]

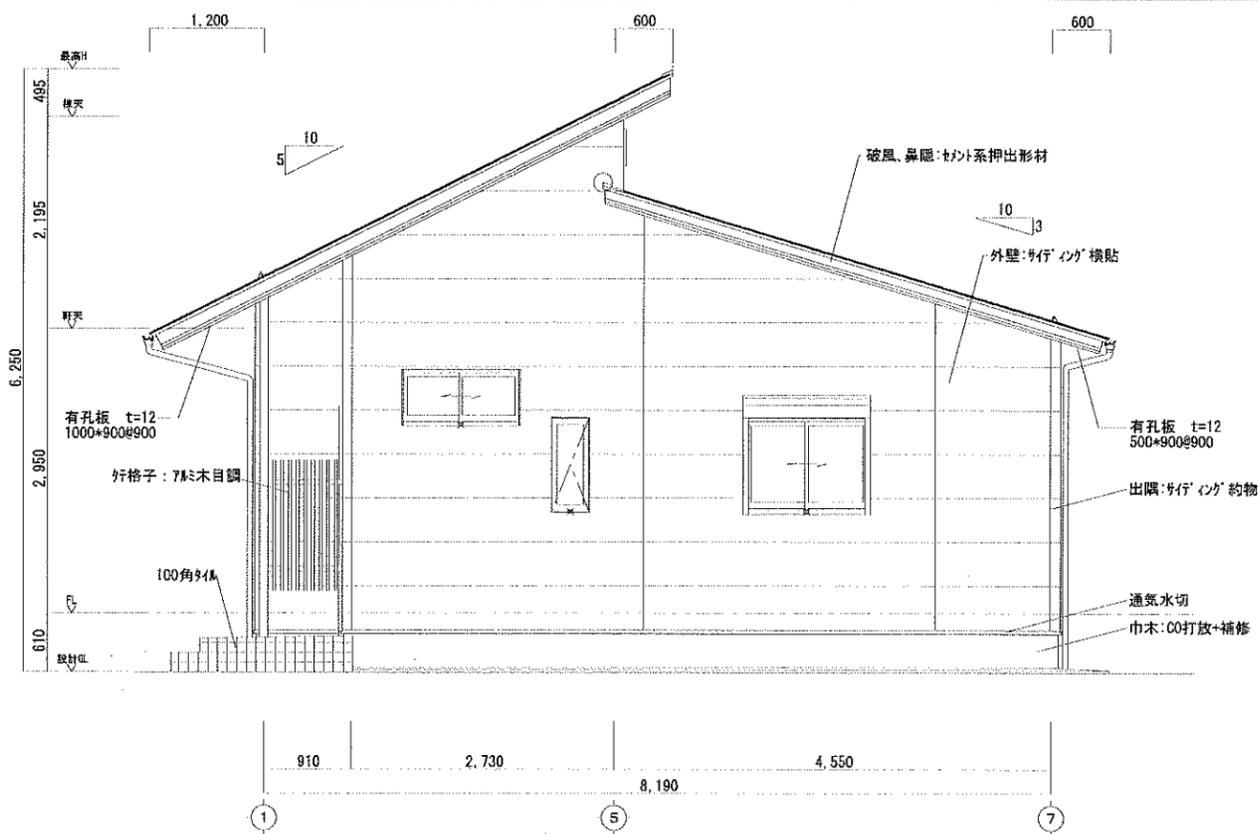
※ 換気設備は換気設備図参照



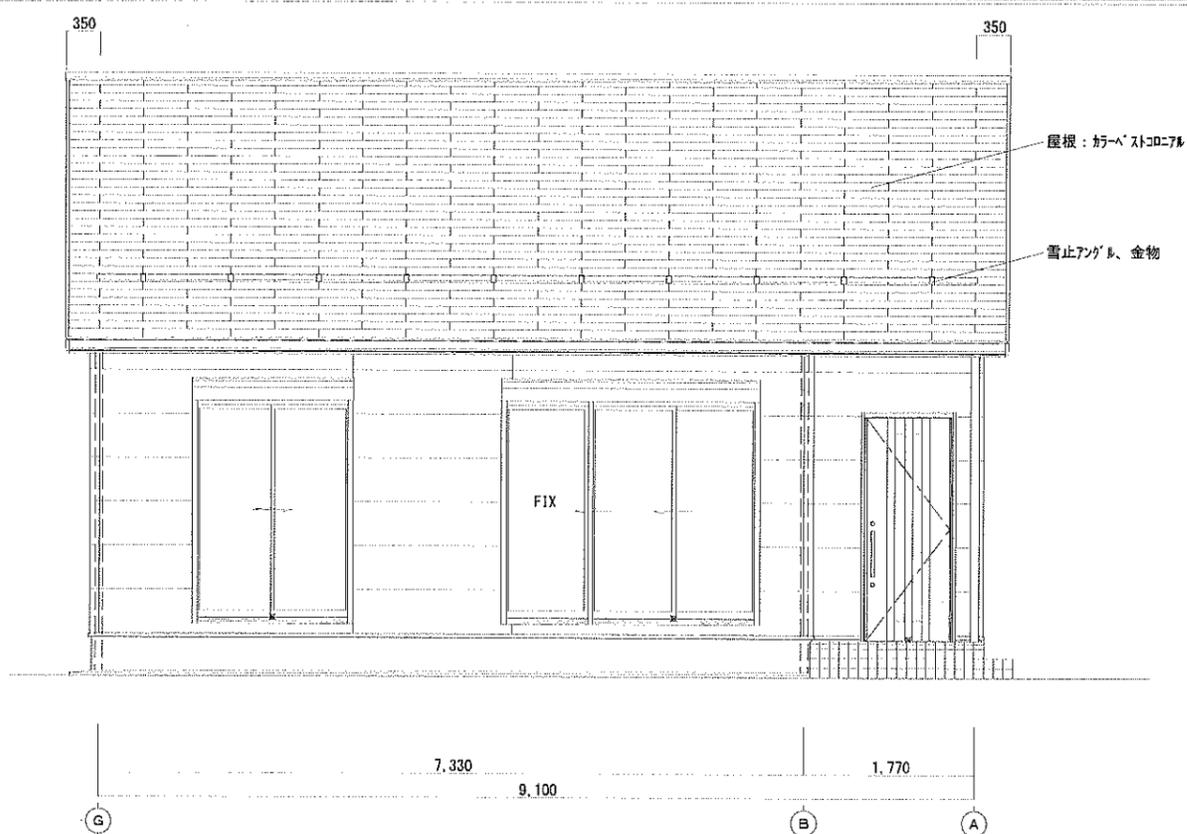
一級建築士事務所
 奈良県知事登録 2012 (と) 第704号
 株式会社 礎建築事務所
 一級建築士 (大臣) 188404 青 明

日付		検	印	製図
縮尺	1/50			

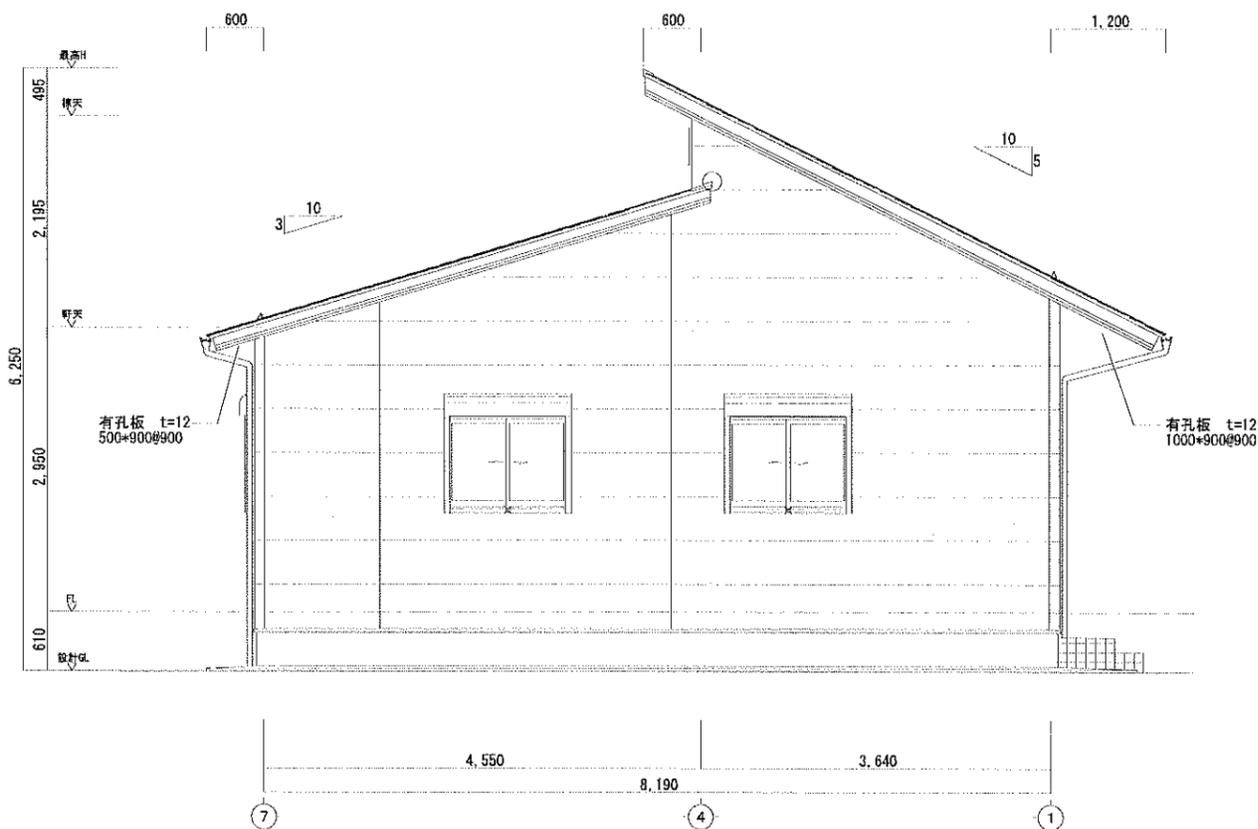
工事名称	黒滝村公営住宅建築工事	A
図面名称	平面詳細図	12
		23



[東 立面図]

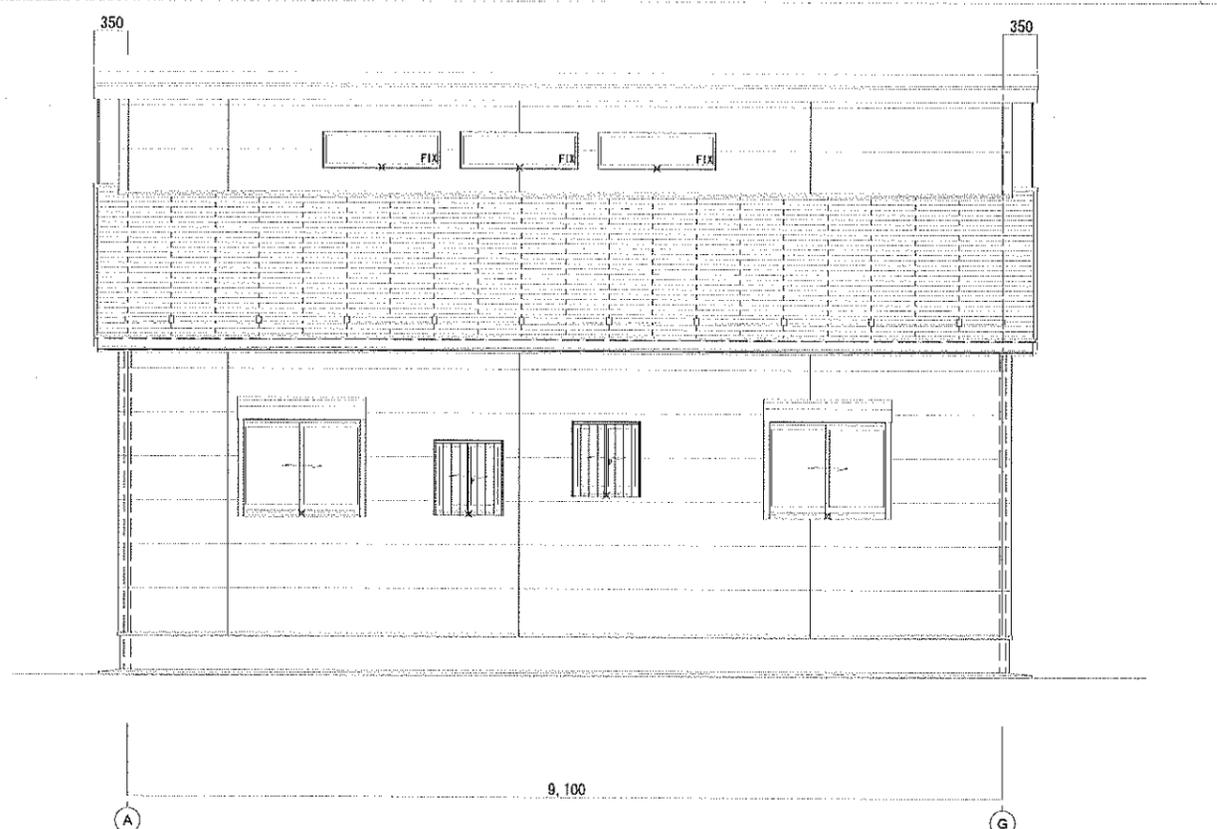


[南 立面図]



[西 立面図]

※ 有孔板の割付・換気面積は屋根伏図参照

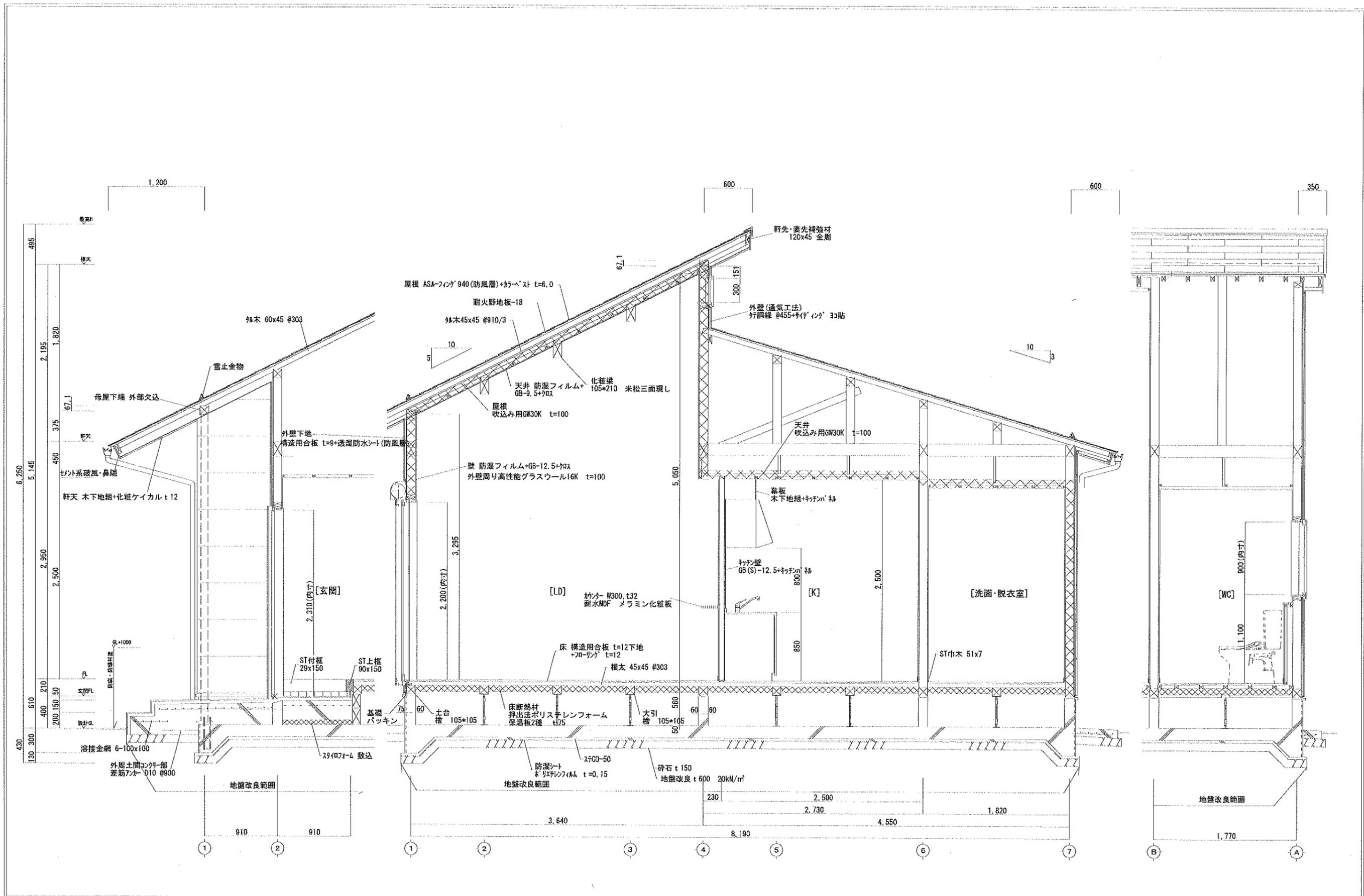


[北 立面図]



一級建築士事務所
奈良県知事登録 2017 (乙) 第704号
株式会社 礎建築事務所
一級建築士 (大田) 188404 附 明

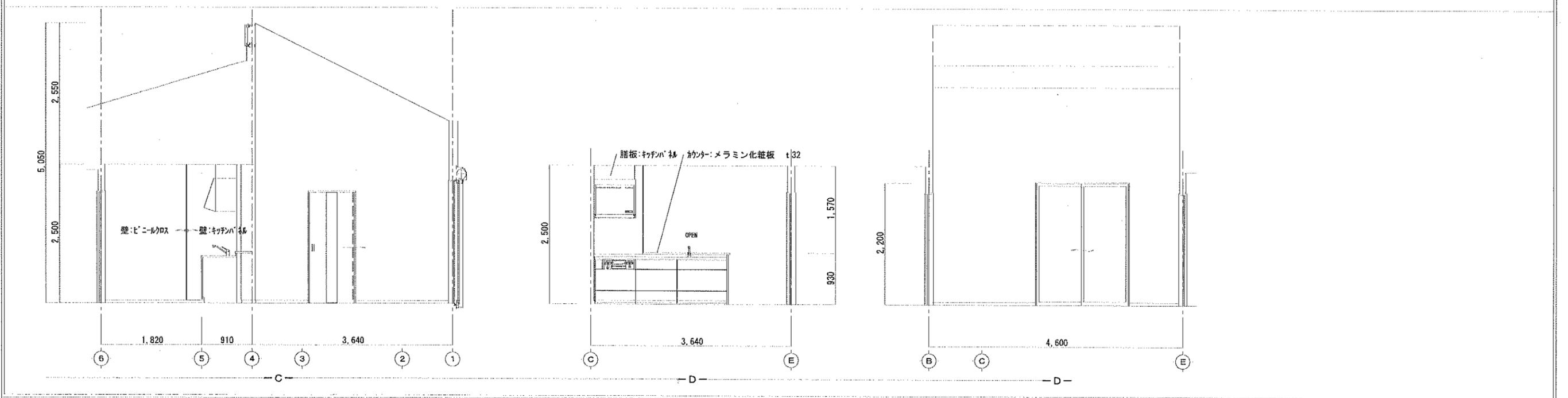
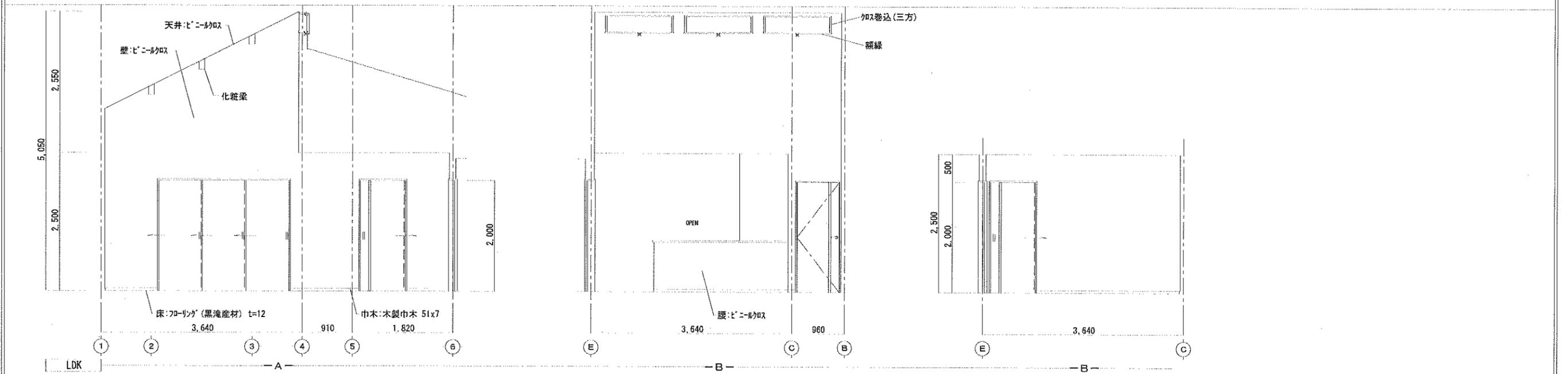
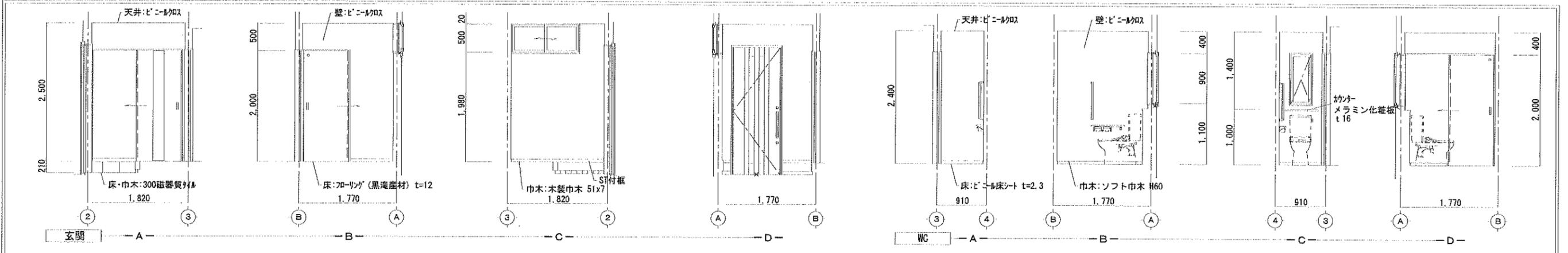
日付		工事名称	黒滝村公営住宅建築工事	A
縮尺	1/50	図面名称	立面図	13
検				23
印				
製図				



一級建築士事務所
 奈良県知事登録 2017 (号) 第704号
 株式会社 礎建築事務所
 一級建築士 (大臣) 188404 青 明

日付		検	印	製
縮尺	1/30			

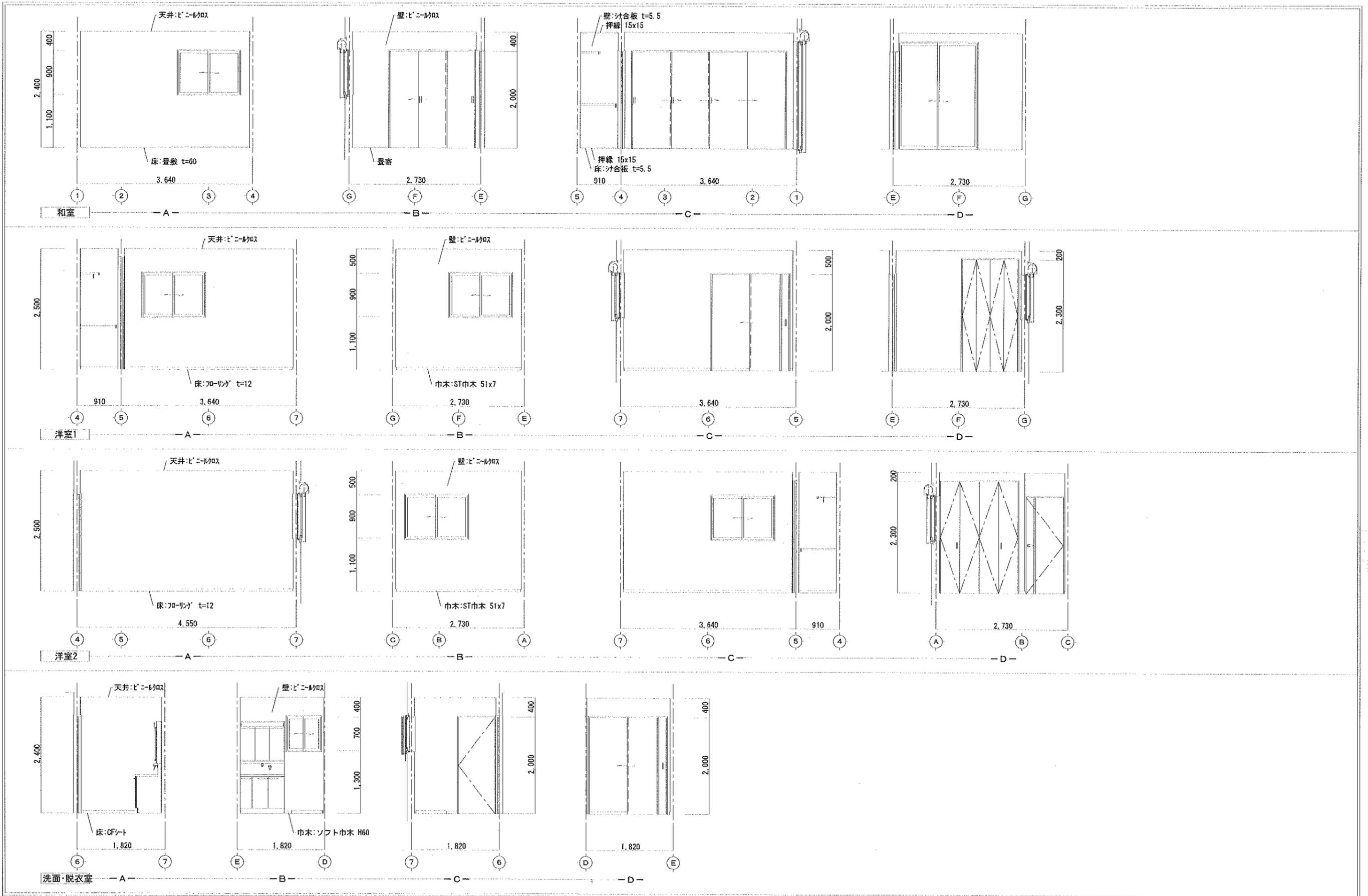
工事名称	黒滝村公営住宅建築工事	A
図面名称	矩計図	14
		23



一級建築士事務所
 奈良県知事登録 2017 (特) 第704号
 株式会社 礎建築事務所
 一級建築士 (大腔) 188404 南 明

日付		検	印	製図
縮尺	1/50			

工事名称	黒滝村公営住宅建築工事	A
図面名称	展開図 1	15
		23



一級建築士事務所
 奈良県知事登録 2017 (特) 第704号
 株式会社 礎建築事務所
 一級建築士 (大臣) 188404 南 明

日付		検 印			工事名称	黒滝村公営住宅建築工事
縮尺	1/50			製図	図面名称	展開図2
						A 16 23

符号・形式	AW-1 シャッター付引違サッシ	AW-2 シャッター付引違サッシ	AW-3 面格子付引違サッシ	AW-4 引違サッシ	AW-5 引き出しサッシ	AW-6 FIXサッシ	
図面							
場所	LD (AW-1A)・和室 (AW-1B)	和室・洋室1・洋室2	洗面 脱衣室・浴室	玄関	WC	LD上部	
個数	1ヶ所	5ヶ所	2ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	3ヶ所	
材質	7mm 電解着色	7mm 電解着色	7mm 電解着色	7mm 電解着色	7mm 電解着色	7mm 電解着色	
ガラス	FL-5+A6+FL-6 日射熱取得率0.74以下 クレセント	FL-5+A6+FL-6 日射熱取得率0.74以下 クレセント	F-4+A6+F-4 日射熱取得率0.74以下 クレセント	F-4+A6+F-4 日射熱取得率0.74以下 クレセント	F-4+A6+F-4 日射熱取得率0.74以下 加工サッシ	F-4+A6+F-4	
金物	別注網戸 シャッター部:スチール(手動式) 付属金物一式	別注網戸 シャッター部:スチール(手動式) 付属金物一式	別注網戸 面格子 付属金物一式	別注網戸 付属金物一式	横引D-M網戸 付属金物一式	付属金物一式	
備考	熱貫流率4.65以下 AW-7 シャッター付引違・FIXサッシ	熱貫流率4.65以下 AD-1 片開ドア	熱貫流率4.65以下	熱貫流率4.65以下 WD-1 片引ドア	熱貫流率4.65以下 WD-2 片引ドア	熱貫流率4.65以下 WD-3 片引ドア	
図面			※ 外部に面する建具は全て複層LOW-Eガラスとする。				
場所	LD (AW-7)	玄関	洋室1・洗面 脱衣室	WC			
個数	1ヶ所	1ヶ所	2ヶ所	1ヶ所			
材質	7mm 電解着色	7mm 木目調化粧シート 81	MDF 化粧樹脂シート 30	MDF 化粧樹脂シート 30			
ガラス	FL-5+A6+FL-6 日射熱取得率0.74以下 クレセント	複層 日射熱取得率0.74以下 プッシュ&錠	半透明合わせガラス t=3+4	—			
金物	別注網戸 シャッター部:スチール(手動式) 付属金物一式	ドア:アルミ・ドア:アルミ 握りハンドル 付属金物一式	数居 蝶込引手 付属金物一式	数居 蝶込引手 付属金物一式			
備考	熱貫流率4.65以下 WD-4 片開ドア	7mm同色顔縁 熱貫流率4.65以下 WD-5 3枚片引ドア	パナソニック電工:ペリイ「スタンダード」仕様 WC型」同等品 WD-6 2枚片引ドア	パナソニック電工:ペリイ「スタンダード」仕様 PA型」同等品			
図面							
場所	洋室2	LD	和室	洋室1・洋室2			
個数	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	2ヶ所			
材質	MDF 化粧樹脂シート 30	MDF	MDF 化粧樹脂シート 30	MDF 化粧樹脂シート 25			
ガラス	—	—	—	—			
金物	丁番 化粧ハンドル 付属金物一式	数居 蝶込引手	数居 蝶込引手 付属金物一式	引手 四方棒(床埋込式) 付属金物一式			
備考	パナソニック電工:ペリイ「スタンダード」仕様 PA型」同等品	パナソニック電工:ペリイ「スタンダード」仕様 PA型」同等品	パナソニック電工:ペリイ「スタンダード」仕様 PA型」同等品	パナソニック電工:ペリイ「スタンダード」仕様 PA型」同等品			

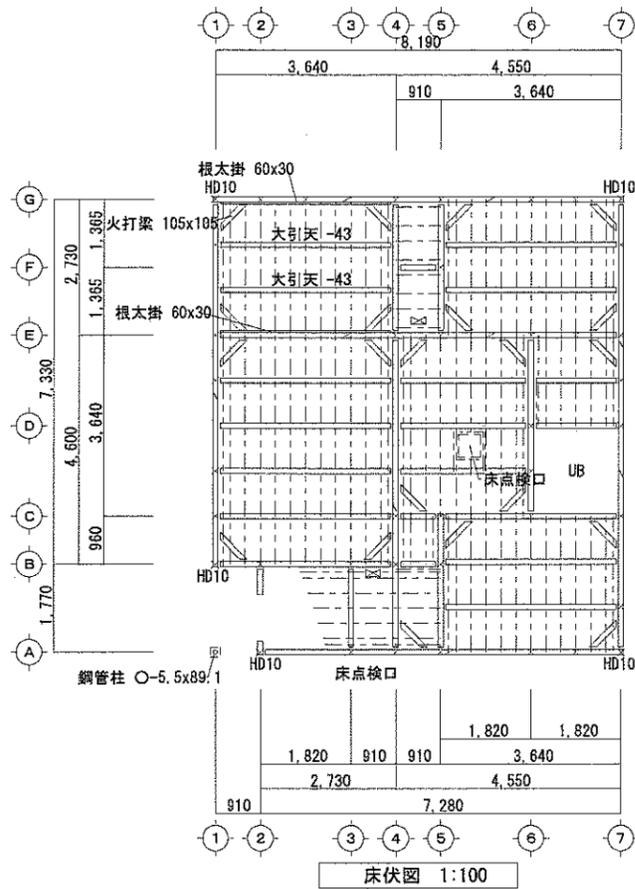


一級建築士事務所
 鹿児島県登録 2017 (特) 第704号
 株式会社 礎建築事務所
 一級建築士 (大阪) 188404 南 明

日付
 縮尺 1/50

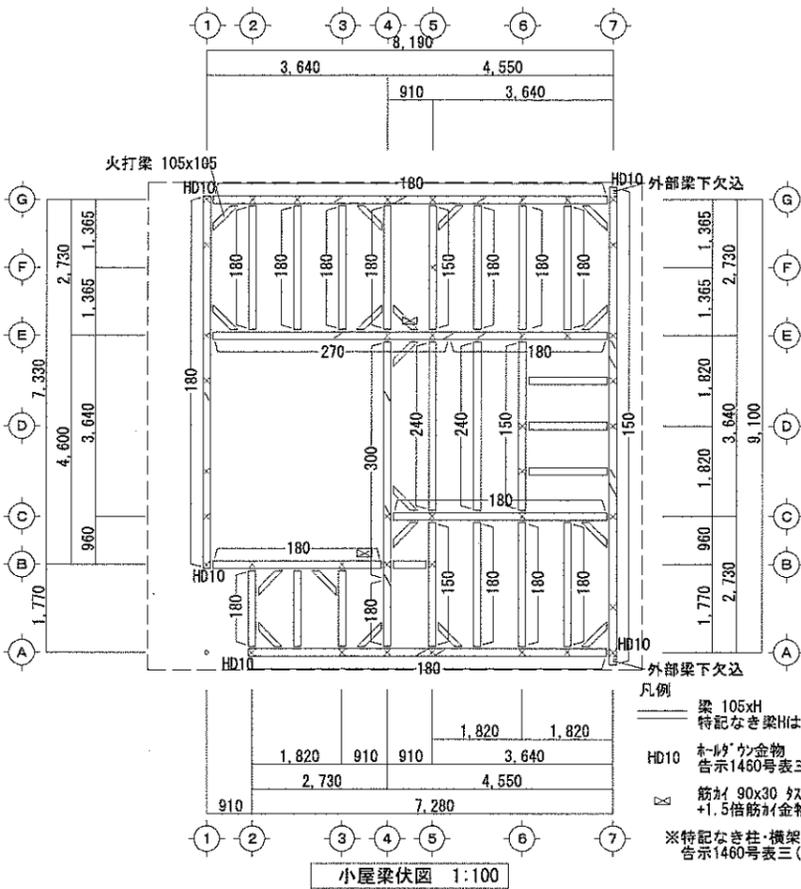
検印 製図

工事名称
 黒滝村公営住宅建築工事
 図面名称
 建具リスト
 A
 17
 23



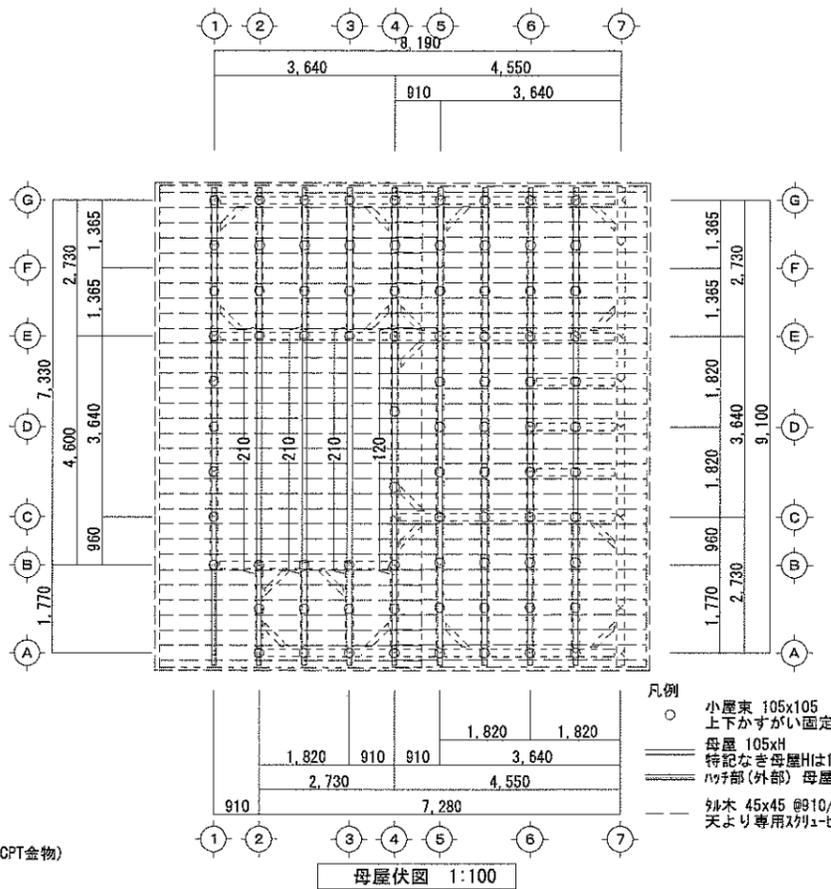
- 凡例
- × 出隅柱 120x120
 - 柱 105x105
 - 土台 105x105
 - 大引 105x105
 - 根大 45x45 @910/3
 - 木引金物 告示1460号表三(ハ)金物
 - HD10

床伏図 1:100



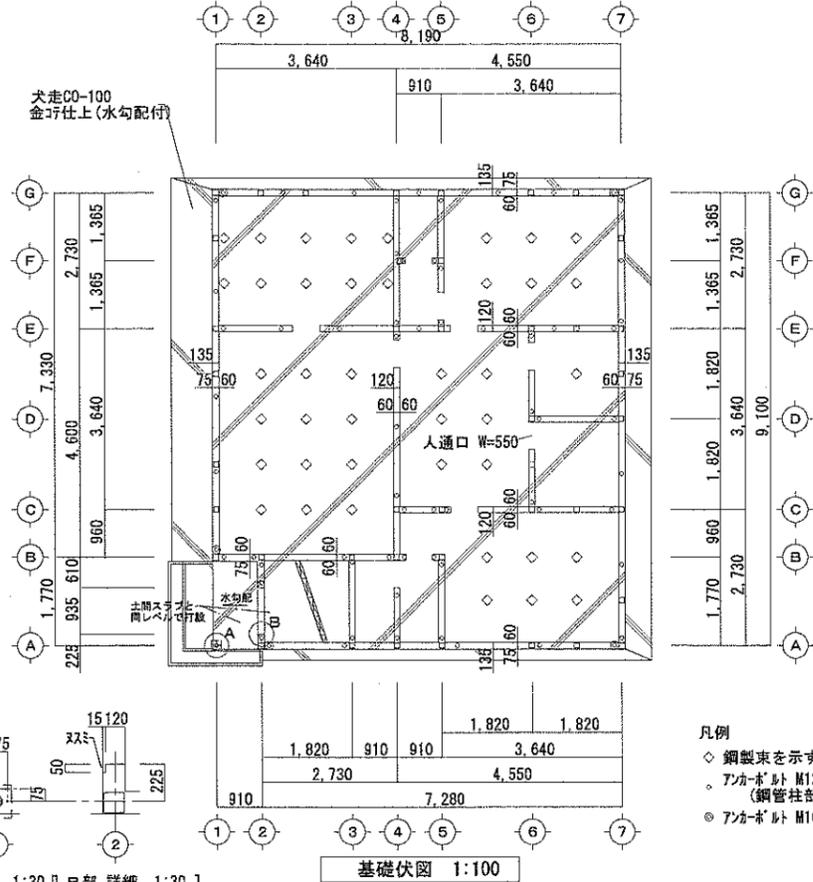
- 凡例
- 梁 105xH
 - 特記なき梁Hは105
 - HD10
 - 木引金物 告示1460号表三(ハ)金物
 - 筋材 90x30 双掛 +1.5倍筋材金物(上下)
 - ※特記なき柱・横架材接合部は 告示1460号表三(ハ)金物(VP-CPT金物)

小屋梁伏図 1:100



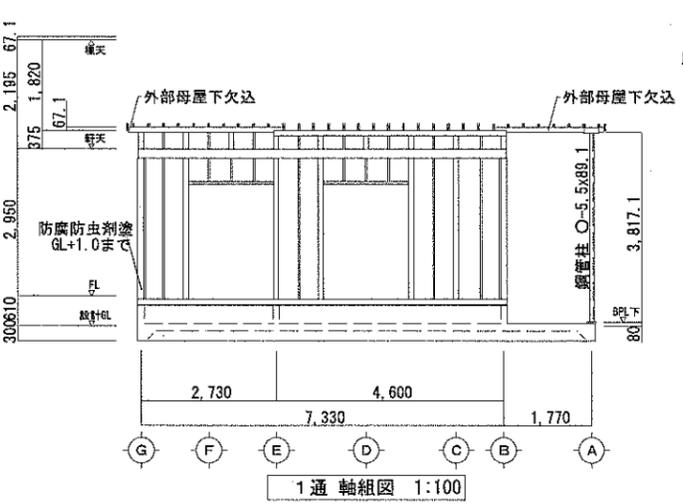
- 凡例
- 小屋束 105x105
 - 上下かすがい固定(各2本)
 - 母屋 105xH
 - 特記なき母屋Hは105
 - ハ7部(外部) 母屋下欠込
 - 外木 45x45 @910/3
 - 天より専用スクリュー固定

母屋伏図 1:100

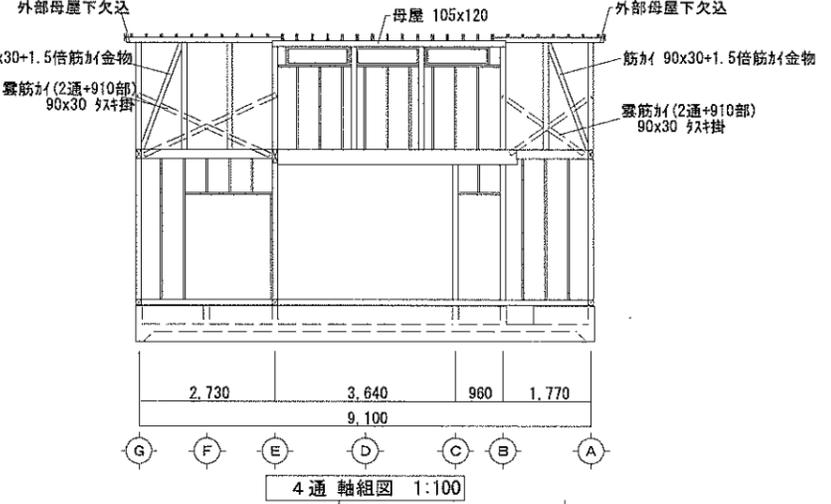


- 凡例
- ◇ 鋼製束を示す
 - アンカーボルト M12 L=450 (@1.8・土台ジョイント部) (鋼管柱部 L=400)
 - アンカーボルト M16 L=600

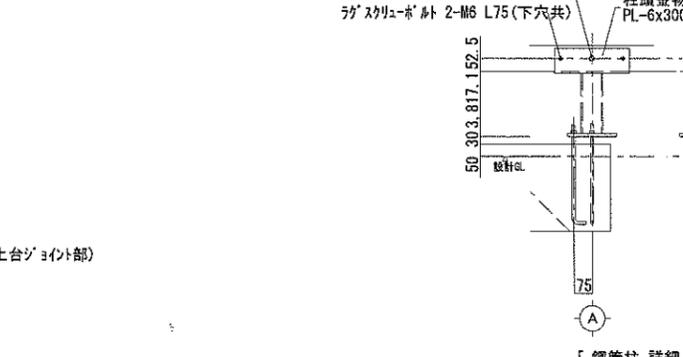
基礎伏図 1:100



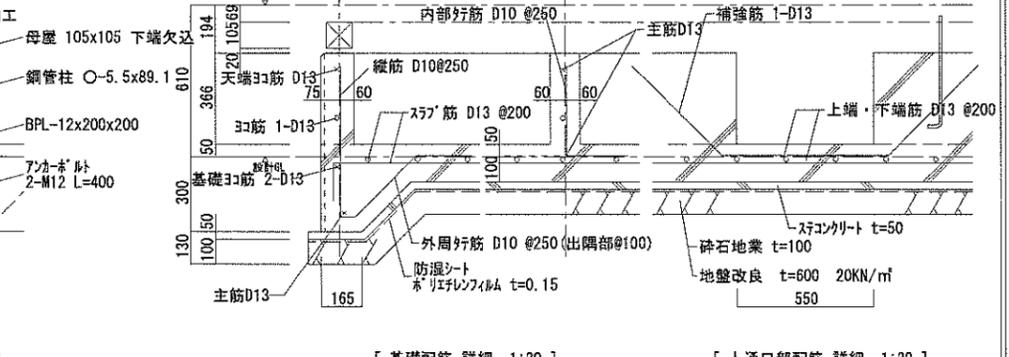
1通軸組図 1:100



4通軸組図 1:100



鋼管柱詳細 1:20



基礎配筋詳細 1:20

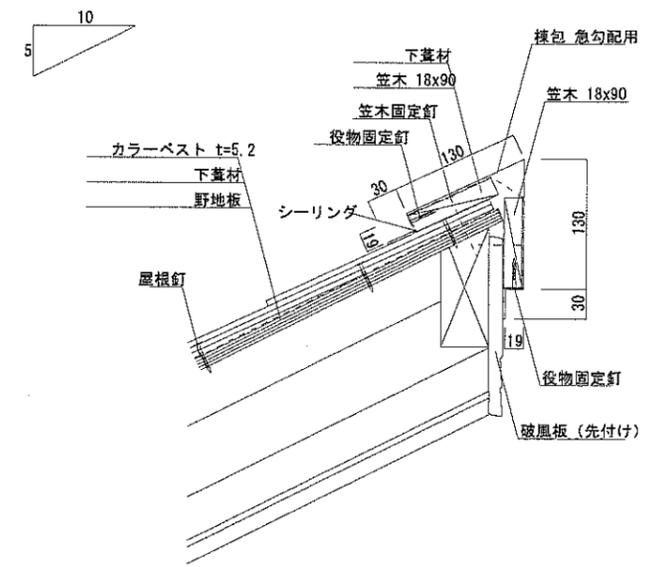
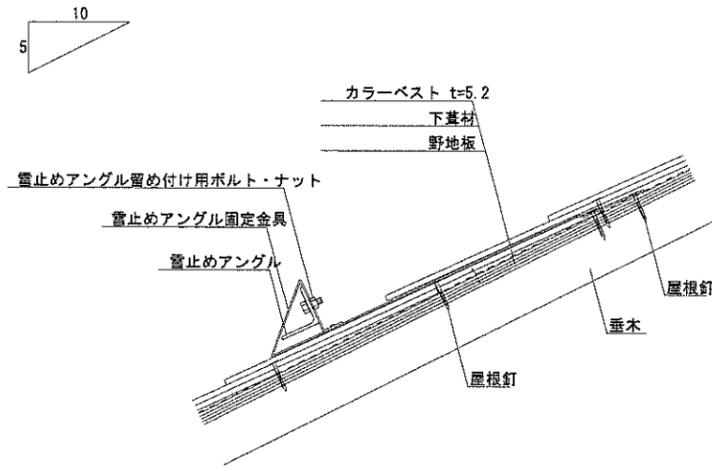
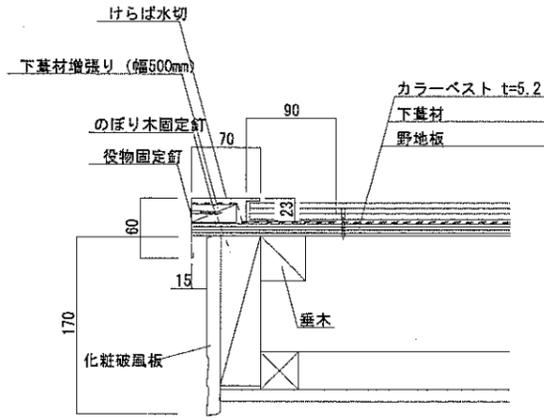
人通口部配筋詳細 1:20

[A部詳細 1:30] [B部詳細 1:30]



一級建築士事務所
 奈良県知事登録 2017(5)第704号
 株式会社 礎建築事務所
 一級建築士(大臣) 188404 南 明

日付		工事名称	黒滝村公営住宅建築工事
縮尺	図示	製図	
		図面名称	基礎・床・小屋伏図・基礎詳細図
		18	23



一級建築士事務所
奈良県知事登録 2017(乙)第704号
株式会社 礎建築事務所
一級建築士(大臣) 188404 雨 明

日付

縮尺

1/5

検 印 製図

工事名称

黒滝村公営住宅建築工事

図面名称

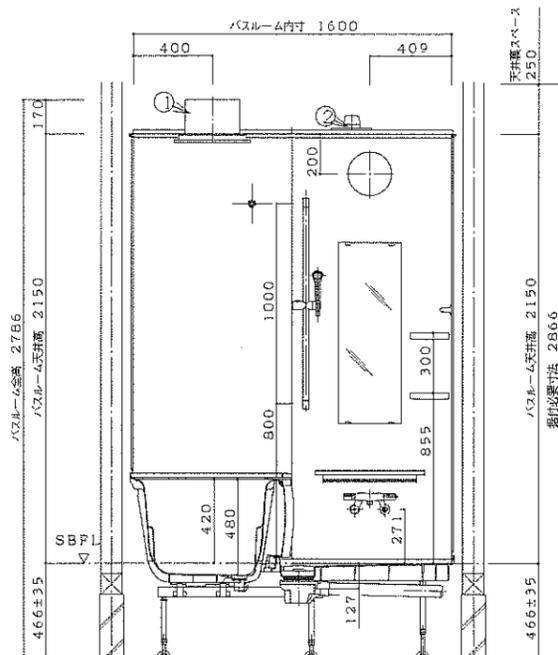
詳細図

A

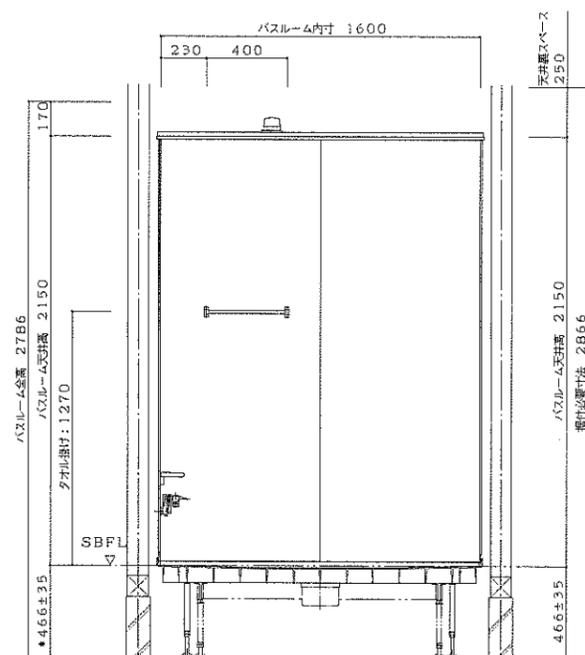
19

23

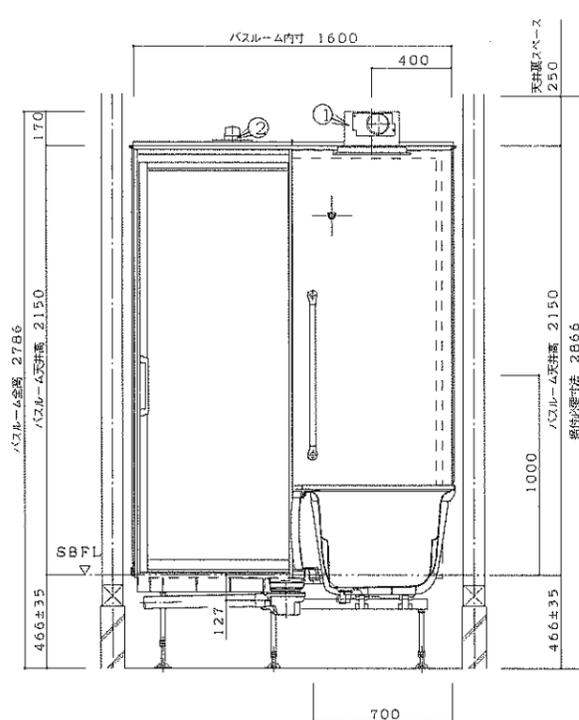
A方向



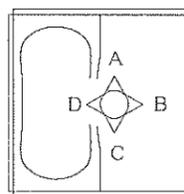
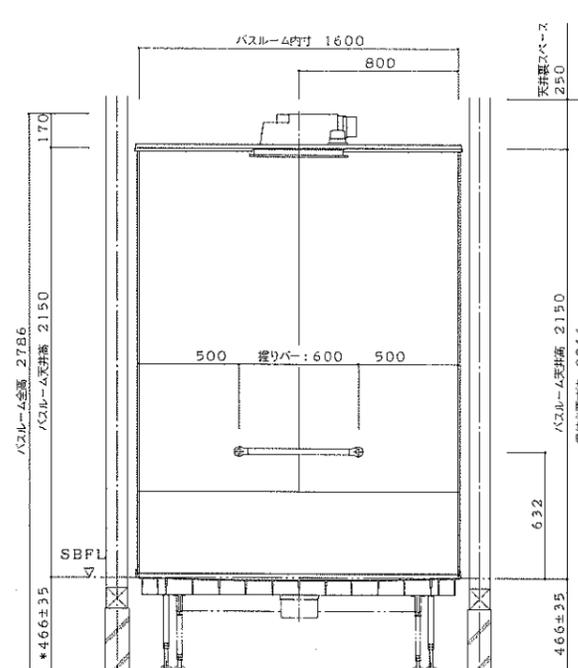
B方向



C方向



D方向



一級建築士事務所
奈良県知事登録 2017 (5) 第704号
株式会社 礎建築事務所
一級建築士 (木匠) 188404 南 明

日付		工事名称			A
縮尺	1/25	換	印	製図	
		図面名称			23
		黒滝村公営住宅建築工事			
		詳細図(浴室2)			

組合せ部材一覧表

No	品名	品番	数	備考
1	カウンター一体バックガード一体用	LEYV2400AAAR4	1	
2	水栓泡沫一般地用白	LE02FRBNA	1	
3	コンロ下開き 壁納め有配管スペース有	LE10J105GZPL	1	
4	フロア3段引出し配管スペース有	LE10JO45KSPT	1	
5	シンク下開き	LE10K090FFPT2	1	
6	エンドパネル壁付フロア	LE1W065PEFS	1	
7	ウォール開き不燃	LE10K030WF2R	1	
8	ウォール開き	LE10K135WA2L	1	
9	エンドパネル壁付ウォール用	LE1W090PEWS	1	
*10	スキマレスステン用非ネットジャバラ有	LE36SHAEJA	1	
11	ウォール用厚木口カバー幅150	LE2S015SZWF	1	
12	IHW600鉄ステン2口IH黒	LEEF32AE	1	
13	ブーツ型フードフロベラW750黒	LEE63AH2F2	1	
*14	取付部品箱ウォール・ミドル3箱用	LE1ZN03SSWA	1	
*15	取付部品箱フロア3箱用	LE1ZN03SSFA	1	
*16	キッチンボードシャイン柄ホワイト	LECKES31	1	
*17	キッチンボードシャイン柄ホワイト	LECKES11	1	
*18	ジョイナー3mm入り隔用ホワイト	LECKBA03C3	1	
*19	ジョイナー3mm見切り用ホワイト	LECKBA03D3	1	

主な仕様

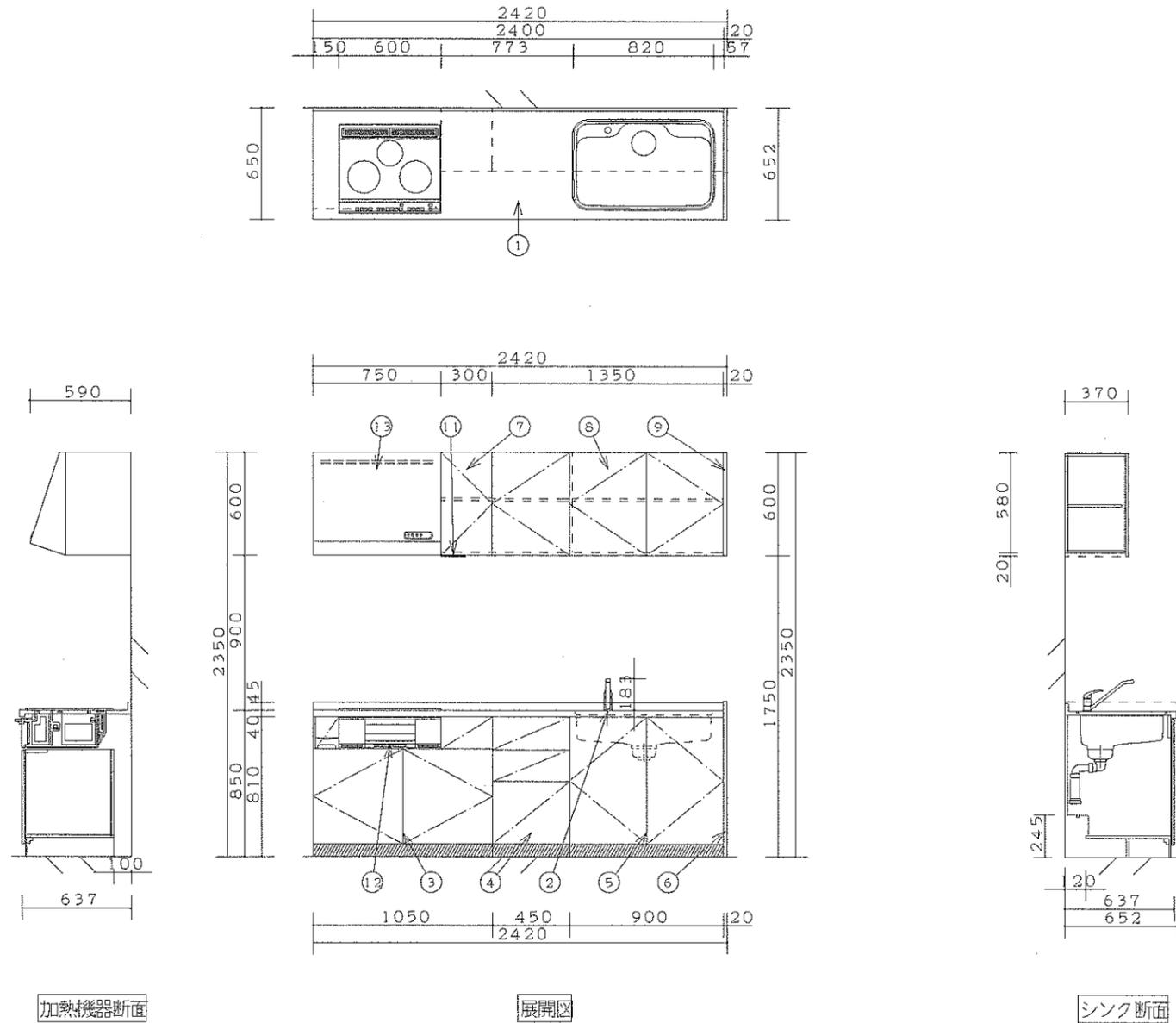
- ・基本商品 : リビングステーション V-style
- ・間口 : W= 2420mm
- ・奥行 : 650 mm
- ・シリーズ : V110シリーズ ホワイト (IW)
- ・取っ手 : ハンドル取っ手 (HDA)
- ・箱柄・レール仕様 : スーパーホワイト/ソフトクローズ機構あり
- ・カウンター : 人造大理石ネオベブルホワイト (YV)
- ・クックスクリーン穴加工 :
- ・シンク : スキマレスシンク・ステンレスMタイプ
- ・シンク勝手 : R勝手
- ・水栓穴加工 : 有 (シンク向かって左側)
- ・止水栓 : 別途
- ・その他 : 耐震用ロック機構付 (ウォールユニットのみ)

注) 商品のサイズに注意し、事前に運搬・搬入経路をご確認ください。

* 印の商品は、図面表示しておりません

◆ ご確認事項 ◆

- ・フロアユニットの組合せによってクオミのラインがそろわない場合があります。展開図、パース図をご確認下さい。
- ◆ 取付・設置上のご注意 ◆
- ・図面表記は一般寸法です。実際の寸法とは異なります。
- ・そで壁が有る場合は見切材等との納まりにご注意下さい。
- ・窓枠、笠木等有る場合はカウンター (バックガード)、ユニットとの納まりにご注意下さい。



一級建築士事務所
奈良県知事登録 2017 (5) 第704号
株式会社 礎建築事務所
一級建築士 (大臣) 188404 南 明

日付		工事名称	黒滝村公営住宅建築工事	A
縮尺	1/5	図面名称	詳細図(キッチン)	23
				23